

# 木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事

## 設計図

図面番号	図面内容	図面番号	図面内容
	意匠		意匠
A - 01	特記仕様書 1	A - 13	主要矩計図
A - 02	特記仕様書 2	A - 14	西側矩計及び非常階段詳細図
A - 03	特記仕様書 3	A - 15	各部断面図
A - 04	特記仕様書 4	A - 16	建具表 1
A - 05	特記仕様書 5	A - 17	建具表 2
A - 06	付近見取図、配置図(仮設図)	A - 18	ホール・室・ソフ 室棟 平面図、立面図、矩計図、建具表
A - 07	外部仕上表		
A - 08	1階平面図		
A - 09	2階平面図		
A - 10	屋根伏図		
A - 11	立面図 1		
A - 12	立面図 2		

工事特記仕様書（改修）

I. 工事名称 木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事

II. 工事概要

1 工事場所 桑名郡木曾岬町田代168番地

2 敷地面積 2,532m<sup>2</sup>

3 工事内容

棟名称 体育館

構造 鉄筋コンクリート造 2階建（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）

建築面積 体育館 1,504.13m<sup>2</sup> ホンロ 室\* 行-室棟 21.00m<sup>2</sup>

延べ面積 体育館 1,856.66m<sup>2</sup> ホンロ 室\* 行-室棟 21.00m<sup>2</sup>

工事項目 防水改修、屋根改修、外壁改修、建具改修、塗装改修、その他改修

III. 建築改修工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書 令和6年7月制定版」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修標準仕様書の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項内容																					
一 般 共 通 事 項	① 1 適用基準等	1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） 2) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）																					
	② 2 施工条件 (1.3.5)	・ 監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ～ 時 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日 週休2日制工事 ・ 月単位 ・ 通期																					
	3 部分引渡し、部分使用	・ 部分引き渡しあり ・ 部分使用あり 指定部分（ ） 時 期（ 年 月 日～ ）																					
	4 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・ 試掘調査の実施あり（発見された場合、発掘調査等の実施あり） ・ 発掘調査等の実施あり																					
	⑤ 5 発生材の処理等 (1.3.12)	・ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。																					
		分別解体等の方法																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造成等</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>上部構造部分・外装</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>建築設備・内装等</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他（ ）</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	その他（ ）	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用
	工程	作業の有無	分別解体等の方法																				
	造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
	基礎・基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
上部構造部分・外装	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
建築設備・内装等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
その他（ ）	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																					
	・ 引き渡しを要するもの ・ 有（ ） ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有（ ） 処理方法（ ） ・ 水銀使用製品産業廃棄物 ・ 有（ ・ 蛍光ランプ ・ HIDランプ ・ （ ）） ・ 現場において再利用を図るもの（ ） ・ 再資源化を図るもの ・ コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材																						
	成形板等の解体・撤去にあたっては、事前に石綿含有に係る施工調査を行う。含有が判明した等の場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。																						
⑥ 6 建設副産物情報交換システムへの登録	請負金額100万円以上の工事において、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。また、工事了後は「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすまやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。 なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。																						
⑦ 7 三重県産業廃棄物税	本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。																						
8 電気保安技術者 (1.3.3)	配置する																						
⑨ 9 技能士 (1.7.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。																						
⑩ 10 施工数量調査 (1.6.2)	調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による																						
11 調査のための破壊部分の補修 (1.6.3)	補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）																						

1.2 建築材料等

1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先利用に努めること。  
2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。  
3) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木製品等の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。  
4) 本工事に使用する木材は、原則として県産材を使用するほか、品質が求められる水準以上であれば、県産材のJAS製材品及び「三重の木」利用推進協議会が認定する「三重の木」の優先利用に努めること。  
5) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。  
6) 下製製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。  
(認定製品の品名： )  
7) 下製製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。  
認定製品の品名： ・ 間伐材製工用バリケード ・ 間伐材工用看板 ・ 間伐材標示板 ・ ( )

1.3 化学物質の濃度測定 (1.7.9)

測定対象化学物質（●で示したものとす。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
学校、教育施設	●	●	●	●	●	●	●
住宅	●	●	●	●	●	●	●
その他	●	●	●	●	●	●	●

測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）  
測定方法（ ・ パッシブ法 ・ アクティブ法）  
測定時期 ・ （ ）  
報告書提出部数 2部  
改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

1.4 特別な材料の工法

1.5 騒音・振動の防止

1.6 工事写真

1.7 完成図等

1.8 完成写真

1.9 電子納品

2.0 設備工事との取合い

2.1 既存部分等への処置 (1.3.13)

2.2 事故の発生時

2.3 下請次数制限及び県内(管内)企業優先利用

2.4 総合評価方式

2.5 不当介入を受けた場合の措置

2.6 消防関係の手続き

2.7 主任技術者又は監理技術者

1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先利用に努めること。  
2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取扱業者から購入するよう努めること。  
3) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督員に提出すること。  
4) 本工事に使用する木材は、原則として県産材を使用するほか、品質が求められる水準以上であれば、県産材のJAS製材品及び「三重の木」利用推進協議会が認定する「三重の木」の優先利用に努めること。  
5) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。  
6) 下製製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。  
(認定製品の品名： )  
7) 下製製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。  
認定製品の品名： ・ 間伐材製工用バリケード ・ 間伐材工用看板 ・ 間伐材標示板 ・ ( )

測定対象室及び測定箇所数 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）  
測定方法（ ・ パッシブ法 ・ アクティブ法）  
測定時期 ・ （ ）  
報告書提出部数 2部  
改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部（令和5年版）)に従い撮影すること。  
なお、デジタル工事写真の画像情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の画像情報電子化について（令和5年3月1日付け国営建技第14号）」による。

作成する ○ 完成図(○ A2版二つ折り製本 ・ 1部 ・ ( ) ) ・ ( )  
完成図作成範囲（設計図面同程度とする）  
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。

デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部  
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。  
○ アルバム（大きさ335mm×290mm程度、カラー） 1部

工事写真は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。  
(提出部数 ・ 3部 ・ 部)  
工事完成図書は、「営繕工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。  
(提出部数 ・ 3部 ・ 部)

施工範囲  
・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強  
・ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強  
・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込及び補強  
・ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び 操作スイッチ

施工図  
・ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。  
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。  
本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するように努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内外又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。

本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の1割を減点します。

暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について  
1) 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。  
2) 1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。  
3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成  
・ 本工事（ ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事） ・ 別途工事  
2) 防火対象物使用開始届出書  
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

1) 技術者要件  
工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。  
2) 専任を要しない期間  
(1) 現場施工に着手するまでの期間  
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所を設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。  
(2) 検査終了後の期間  
工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

2.8 工事の一時中止

2.9 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

3.0 建築基準法に基づく定まる風圧及び積雪荷重

3.1 火災保険等

3.2 不正軽油の使用の禁止

3.3 技術検査

3.4 保全に関する資料

3.5 屋外広告物

3.6 社会保険等未加入対策

3.7 現場での安全確保(自主施工原則)

3.8 設計図書の照査

3.9 石綿含有建材の調査 (1.5.1)

2 仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)

2 足場等 (2.2.1)

(表2.2.1)

3 既存部分の養生 (2.3.1)

4 仮設間仕切り (表2.3.1)

工事の一時中止の取り扱いについては「工事の一時中止のガイドライン」（平成29年7月 三重県県土整備部）による。  
三重県建設工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、協議する。  
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

建築基準法に基づき定められた区分等  
基準風速 V0=34 m/s  
地表面粗度区分（ ・ II ・ III）  
積雪区分（ ） cm

三重県建設工事請負契約書5.2条第1項の規定により、火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に加入し、その加入証券等を提示しなければならない。

1) 保険の目的物 工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）  
2) 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引き渡しまでの間  
3) 保険金額 原則として請負金額に相当する金額

1) 一般事項  
工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。  
2) 調査の協力  
受注者は、県が使用燃料の採掘調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。  
3) 是正措置  
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

中間技術検査 実施回数 ・ 回 実施する段階 ・ ( )

・ 1部 ・ ( )

屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。

適用除外でないにも関わらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。  
受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書・作業員名簿により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。  
設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

三重県公共工事共通仕様書第1編1章1-1-1-3-2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。  
なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。

・ 石綿含有建材の事前調査  
調査範囲 ○ 改修部分すべて  
貸与資料 ・ 既存の設計図書 ○ 石綿含有建材の調査報告書 ・ ( )

・ 分析調査  
分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロソライト、トレモライト  
分析方法

材料名	定性分析法 JIS A 1481-1 JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4 JIS A 1481-5
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )

サンプル数 1箇所あたり3サンプル  
採取箇所 ・ 図面（図面番号： ） ・ ( )

・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）  
・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ）

足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

外部足場 ○ 設置する（設置範囲 ○ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない  
防護シート ○ 設置する（設置範囲 ○ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない  
内部足場 ・ 設置する（ ・ ） ・ 設置しない

材料、撤去材等の運搬方法  
種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ）  
C種：利用可能なエレベーター（ ）  
D種：利用可能な階段（ ）

高さが5m以上の箇面での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能落制止用器具はフルハネス型とし、「墜落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)によるものとする。

既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ）  
既存ブラインド・カーテンの養生  
養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 ・ ( )  
固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 行う ・ 行わない

屋内の仮設間仕切り ・ A種 ・ B種 ・ C種  
合板 厚さ ・ 9mm ・ ( )  
せつこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・ ( )  
合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない  
仮設扉 設置箇所 ・ 図示（図面番号： ） 仕様 ・ 合板張り木製扉 ・ ( )

特記事項	設計		縮尺	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番	年月日
	計				図名	No. A 01	R6年10月	

公益財団法人 三重県建設技術センター

特記仕様書 1

5 監督員事務所 (2.4.1)

- ・ 構内建物内の一部を使用する。
- ・ 設置する

監督員事務所の規模(単位:m)

適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
------	------	------	------	------	-------

監督員事務所の仕上げ

部位等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り
屋根	塗装溶融垂れどめつき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合ペイント塗り

6 監督員事務所の設備、備品等 (2.4.1)(2)(7)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

7 仮設便所

8 工事用水

9 工事用電力

10 交通誘導員

3 防水改修工事

1 既存防水層の処理 (3.1.4)(3.2.6)

既存保護層(立上り部等)の撤去

- ・ 行う (・POD・PODI・POAS・POASI・POS・POSI・POX)
- ・ 行わない

既存防水層(立上り部等)の撤去

- ・ 行う (・POD・PODI・POAS・POASI・POS・POSI・M4S・M4SI・S4S・S4SI・POX)
- ・ 行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去

- ・ 行う (・M4AS・M4SI・M4C・M4DI・L4X)
- ・ 行わない

2 既存下地の処理 (3.2.6)

POS工法、POSI工法(機械固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理

- ・ 改修標準仕様書[3.2.6(4)(ウ)(e)①~③] ・ ( )

設備機架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり、丸環の取付け部、塔屋出入口等及び防水層末端部の納まり部の処理

- ・ 監督員と協議する ・ ( )

3 アスファルト防水 (3.3.2)~(3.3.5)(表3.3.3)~(表3.3.10)

押え金物の材質、形状及び寸法

- ・ アルミニウム製 (L-30×15×2.0mm程度) ・ ( )

屋根保護防水

防水層の種類

工法	種 別	断熱材の厚み	絶縁用シート	立上り部	
				保護	断熱材、絶縁シート
・ P2A	・ A-1		・ 非圧縮性発泡断熱材 (0.15mm以上)	・ 乾式保護材	
	・ A-2				
	・ A-3				
・ P1B	・ B-1	・ 部分粘着 ・ 砂付	・ フライクック (70kg/m程度)	・ コンクリート押え	
	・ B-2				
・ P2A1	・ A1-1	・ ( mm)	・ フライクック (70kg/m程度)		・ 設置する
	・ A1-2				
	・ A1-3				
・ P1BI	・ B-1	・ 部分粘着 ・ 砂付			・ 設置しない
	・ B-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

- ・ 改修標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる ・ ( )

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

- ・ 改修標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる ・ ( )

平場の保護コンクリート

こて仕上げ 厚さ ・ 水下80mm以上 ・ ( )

平坦さ ・ a種 ・ b種 ・ c種

床タイル張り 厚さ ・ 水下60mm以上 ・ ( )

屋根排水溝 ・ 図示 (図面番号: )

屋根露出防水

防水層の種類

工法	種 別	断熱材	仕上塗料		備 考
			種類	使用量	
・ M4C	・ C-1		・ 製造所の仕様 ・ ( )	・ ( )	
	・ C-2				
	・ C-3				
	・ C-4				
・ M3D	・ D-1	・ 製造所の仕様 ・ ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	脱気装置 ・ 設ける	・ 設けない
・ POD	・ D-2				
・ PODI	・ DI-1	種類 ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	改修用ドレン ・ 設ける
	・ M3DI				
・ M4DI	厚さ ( )	・ ( )	・ ( )	・ ( )	・ 設けない

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

種類 ・ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ ( ) 設置数 ・ ( )

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合のルーフトン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 ( )

屋内防水

防水層の種類

工法	種 別	保護層
・ P1E	・ E-1	・ 設ける
・ P2E	・ E-2	・ 設けない

E-1の工程3を行う部位 ・ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・ ( )

4 改質アスファルトシート防水 (3.4.2)(3.4.3)(表3.4.1)~(表3.4.3)

防水層の種類

工法	種 別	断熱材	仕上塗料		備 考
			種類	使用料	
・ M4AS	・ AS-T1		・ 製造所の仕様 ・ ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	
	・ AS-T2				
	・ AS-J2				
・ M3AS	・ AS-T3		・ 製造所の仕様 ・ ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ AS-T4				
	・ AS-J1				
	・ AS-J3				
・ M3ASI	・ ASI-T1	種類 ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
・ M4ASI	・ ASI-J1				
・ POASI					改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

- ・ 改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる ・ ( )

粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

- ・ 改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる ・ ( )

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

- ・ 改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる ・ ( )

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

数量 ・ 改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ ( )

設置数量 ・ 改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ ( )

屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート ・ 設置する ・ 設置しない

押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L-30×15×20mm程度 ・ ( )

5 合成高分子系シート防水ルーフィング (3.5.2)~(3.5.4)(表3.5.1)~(表3.5.3)

屋根防水

防水層の種類

工法	種 別	断熱材	仕上塗料		備 考
			種類	使用料	
・ POS	・ S-F1		・ 製造所の仕様 ・ ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-F2				
	・ S-M1				
・ S3S	・ S-F1		・ 製造所の仕様 ・ ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-F2				
・ M4S	・ S-M1		・ 製造所の仕様 ・ ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-M2				
・ POSI	・ SI-F1	種類 ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S3SI				
・ S4SI	・ SI-M1	厚さ ( )	・ ( )	・ ( )	改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
	・ M4SI				

ルーフィングシートの厚み (S-F2, S-M2)

- ・ 軽歩行 (・POS・S4S・S3S・M4SI)
- ・ 非歩行 (・POS・S4S・S3S・M4SI)

防湿用フィルム (SI-F2, SI-M2) ・ 設置する ・ 設置しない

ルーフィングシートの種類及び厚さ ・ 改修標準仕様書 表3.5.1~3.5.3までによる ・ ( )

絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート ・ ( )

固定金具の材質及び寸法形状

- ・ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステン鋼板又は樹脂積層加工した鋼板 ・ ( )

脱気装置の種類及び設置数量 ・ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ ( )

接着工法の目地処理 ・ プレキャストコンクリート下地 ( )

プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1, SI-F1の場合) ・ 行う ・ 行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

- ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ) 倍の風圧力に対応した工法

屋内防水

防水層の種類

工法	種 別	保護層		立上り部の保護モルタルの塗厚
		平場のモルタル塗り	工法	
・ P1S	S-C1	塗り厚さ	工法	7mm以上 ・ ( )
		・ 床塗り工法	・ 下地モルタル塗り	

床塗りの場合の床の目地

目地割り (・ 2m程度 最大目地間隔3m程度) ・ ( )

目地の種類 (・ 押し目地) ・ ( )

6 塗膜防水 (3.6.3)(表3.6.1)~(表3.6.3)

屋根防水

防水層の種類

工法	種 別	仕上塗料		備 考	
		種類	使用料		
・ POX	X-1	・ 製造所の仕様 ・ ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない	
					・ X-1H
					・ X-2
					・ X-2H
・ L4X	X-1	・ 製造所の仕様 ・ ( )	・ 製造所の仕様 ・ ( )	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない	
					・ X-1H
					・ X-2
					・ X-2H

ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量

- ・ 主材料の製造所の仕様 ・ ( )

屋内防水

防水層の種類

工法	種 別	保護層
・ P1Y	・ Y-2	・ 設ける ・ 設けない
・ P2Y	・ Y-2	・ 設ける ・ 設けない

7 シーリング (3.7.2)(表3.7.1)(3.7.4)~(3.7.8)

材料

種類	材質	施工箇所
・ SR-1	シリコーン系	
・ MS-2	変成シリコーン系	タコ廻り、外壁
・ PS-2	ポリサルファイド系	
・ PU-2	ポリウレタン系	

工法

- ・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法
- ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法

シーリング材の試験

- ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない

8 とい (3.8.2)(表3.8.1)(表3.8.2)

材種 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ 配管用鋼管 (白管)

・ ( )

とい受金物及び足金物

といの種類	受金物・足金物の材種	形状	取付け間隔

工法 ・ 図示 (図面番号: )

部材の種類

- ・ 押出し250形 ・ 押出し300形
- ・ 押出し350形 ・ 板材折曲げ形 (本体幅 ( ) mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ( ) )

固定金具の間隔 ( mm)

固定方法 ・ ( )

表面処理 ・ ( )

工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示 (図面番号: )

下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号: )

板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号: )

笠木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号: )

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法は施工計画書として提出する。

10 保証書

工事区分	材料名	保証年数
防水工事	・ 防水	・ 0年 ・ 年
	・ シーリング	・ 5年 ・ 年

※防水施工業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。

4 1 施工数量調査

・ 行う ・ 行わない

調査範囲 ・ 全面 ・ ( )

調査項目

- ・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm ・ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上)
- ・ はがれ及びはく落部分
- ・ 浮き部

調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)

報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

2 改修工法の種類 (4.1.4)(4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンクリート打直し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法
	欠損部	・ Uカットシール材充填工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ シール工法
	欠損部	・ 樹脂注入工法
・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ Uカットシール材充填工法
	欠損部	・ シール工法
・ 塗り仕上げ外壁	浮き部	・ 充填工法
	目地	・ モルタル塗替え工法
・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法
・ 塗り仕上げ外壁	浮き部	・ タイル張替え工法
	目地	・ アンカーピンニング
・ 樹脂注入工法	種類	・ 部分エポキシ樹脂注入工法
		・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ シール工法	種類	・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
		・ 注入口付アンカーピンニング
・ 充填工法	種類	・ 部分エポキシ樹脂注入工法
		・ 全面エポキシ樹脂注入工法
・ モルタル塗替え工法	種類	・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
		・ エポキシ樹脂注入工法
・ 樹脂注入工法	種類	・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法
		・ エポキシ樹脂注入工法
・ シール工法	種類	・ タイル部分張替え工法
		・ タイル張替え工法
・ 充填工法	種類	・ 目地ひび割れ部改修工法
		・ 伸縮調整目地改修工法
・ モルタル塗替え工法	種類	・ 薄付け仕上塗材塗り
		・ 厚付け仕上塗材塗り
・ シーリング工法	種類	・ 複層仕上塗材塗り
		・ 可とう形改修仕上塗材塗り
・ 塗り仕上げ外壁	種類	・ マスチック塗材塗り
		・ 外壁用塗膜防水材塗り

3 改修工法等 (4.2.4)(1)(4.2.5)(4.3.6)(4.4.6)

種類

- ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入量 ( 30g/穴 ) 注入間隔 ( 16m/m2 )
- ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入量 ( ) 注入間隔 ( )
- ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量 ( ) 注入間隔 ( )

コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない

- ・ 抜取り個数 ( )
- ・ 抜取り部分補修方法 ( )

(4.2.4)(2)(4.2.6)(4.3.7)

- ・ Uカットシール材充填工法
- 材料 ・ シーリング用材充填 ( ・ PU-1 ・ PU-2 ・ ( ) )
- ・ 可とう性エポキシ樹脂充填
- シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
- ・ 行う ・ 行わない

(4.2.4)(3)(4.2.7)(4.3.8)

- ・ シール工法
- 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.4)(4)(4.2.8)(4.3.9)

- ・ 充填工法
- 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル

(4.3.5)(5)(4.3.10)

- ・ モルタル塗替え工法
- 材料 ・ 現場調査材料 ・ 既調査材料
- ・ 既製目地材の適用及び形状 ( ) ・ 仕上げ厚 ( )

(4.3.5)(6) アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法  
アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )

(4.3.5)(6) アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法  
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )

(4.3.5)(6) アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法  
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )

(4.3.5)(7) 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法  
注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.3.5)(7) 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法  
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.3.5)(7) 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法  
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ( )  
材料 ・ ポリマーセメントスラリー ( )  
注入口付アンカーピン ( ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( ) )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.4.15) 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法  
注入口付アンカーピンの本数 ・ ( )  
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ( )  
呼び径 ・ 6mm ・ ( )

(4.4.5) タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法  
材料

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無
・ 役物 ( ・ 一体成型 ・ 接着加工 )					

外壁タイル接着張りのシーリング材  
打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ・ ( )  
伸縮調整目地及びその他の目地 ・ ( )

(4.4.7) タイル部分張替え工法  
張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル  
・ 接着剤 (一液反応硬化形変成シリコン樹脂) (目地詰め ・ 有り ・ 無し)  
一か所当たりの張替え面積が0.25㎡を超える箇所 ・ 有り ・ 無し

(4.4.5) タイル張替え工法

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	備考
・ 外装 タイル	小口平二丁掛100角	・ 密着張り	・ 現場調合モルタル
	小口以上二丁掛以下	・ 改良圧着張り	・ 既調合モルタル
・ ユニットタイル	50二丁掛以下	・ 接着剤張り	目地詰め ・ 有り ・ 無し
		・ マスク張り	・ 現場調合モルタル
		・ モザイクタイル貼り	・ 既調合モルタル
		・ 接着剤張り	目地詰め ・ 有り ・ 無し

(4.4.8)(3) 試験張り ・ 行う ・ 行わない  
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

(4.4.8)(8) 有機系接着剤張りのコンクリート素地面の地下処理の方法 ・ ( )  
下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・ 行う ・ 行わない

(4.4.5)(5) 目地ひび割れ部改修工法  
(4.4.16) 伸縮調整目地改修工法  
伸縮調整目地 (位置 寸法 × )  
検査 シーリング接着剤試験 ・ 行う ( ・ 簡易接着剤試験 ・ 引張接着剤試験 )

(4.5.5) 下地調整 (C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ( ) )

(4.5.2) (表4.5.1(その1)(その2))

種 類	呼び名	仕上げ形状	工法	備考
薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け	
		・ ゆず肌状	こて	
・ ( )	・ ( )	・ 平坦ん状	こて	
		・ 凹凸状	ローラー	
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ ゆず肌状	ローラー	上塗材 ・ セメントスタッコ ・ ( )
		・ さざ波状	ローラー	
・ ( )	・ ( )	・ 着色骨材砂壁状	吹付け	
		・ こて	こて	
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材E	・ 吹放し	吹付け	
		・ 凸部処理	こて	
・ 外装厚塗材Si	・ 外装厚塗材E	・ 平坦ん状	こて	
		・ 凹凸状	ローラー	
・ ひき起し	・ ひき起し	・ 吹放し	吹付け	
		・ 凸部処理	こて	
・ 凹凸状	・ 凹凸状	・ 吹放し	吹付け	
		・ 凸部処理	こて	
複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE	・ ゆず肌状	ローラー	耐候性 ・ 耐候形3種 ・ ( )
		・ 凸部処理	吹付け	
・ ( )	・ ( )	・ 凹凸状	ローラー	
		・ 凸部処理	吹付け	
可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE	・ 平坦ん状	ローラー	耐候性 ・ 耐候形3種 ・ ( )
		・ さざ波状	ローラー	
・ ( )	・ ( )	・ ゆず肌状	吹付け	
		・ 凸部処理	吹付け	

(4.6.2)(表4.6.1) ・ マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種

(表4.5.2) 複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類		タクト	
	溶剤系	水系	艶有	艶無
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ シリカ系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(表4.7.1) 外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法

種類	仕上げの形状		工法	仕上塗料	下地準拠緩衝材
	凹凸状	凸部処理			
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 凸部処理	・ 吹付け	種類	・ 適用する
	・ ゆず肌状	・ 凸部処理	・ ローラー	耐候性	・ 適用しない
	・ さざ波状	・ 凸部処理	・ ローラー	耐候性	・ 適用しない

5 建具改修工事

1 改修工法 (5.1.3)  
・ かぶせ工法  
・ カバー工法  
・ 持出し工法  
・ ノンシール工法

2 防火戸 (5.1.4)  
・ 撤去工法  
・ はつり工法  
・ 引抜き工法

3 見本の製作 (5.1.5)  
・ 製作する  
・ 製作しない

4 防犯建物部品 (5.1.7)  
・ 図示 (図面番号: )

5 ブラインドボックス等 (5.1.6)(3)  
・ 再使用する  
・ 再使用しない

6 アルミニウム製建具 (5.2.2)(5.2.4)(表5.2.1)(表5.2.2)  
外部建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種  
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )  
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )  
・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号: )

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類  
・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外)  
・ BA-1 ・ BA-2 ・ ( )  
・ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外)  
・ BB-1 ・ BB-2 ・ ( )  
・ 内部に面する建具  
・ BC-1 ・ BC-2 ・ ( )

7 網戸 (5.2.3)(5)  
・ 可動式  
・ 固定式  
防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製  
網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ

8 樹脂製建具 (5.3.2)~(5.3.3)(表5.3.1)~(表5.3.3)  
外部に面する樹脂製建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種  
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )  
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )  
・ 日射熱取得性 (等級 )

ガラス ・ 複層ガラス ・ ( )  
建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号: )  
水切り ・ 図示 (図面番号: )  
ぜん板 ・ 図示 (図面番号: )  
丁香 ・ 改修標準仕様書(表5.7.3)による ・ 図示 (図面番号: )

9 鋼製建具 (5.4.2)  
鋼製建具の性能等級  
・ 簡易気密性ドアセット  
・ 外部に面する建具の耐風圧  
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6  
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )  
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )  
・ 耐震ドアセット (等級 )  
・ H2400又はH950の建具  
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号: )  
・ かつずりの仕上げ ・ HL ・ ( )

標準型鋼製建具

形式	幅(mm)	高さ(mm)
片開き	900	950
親子開き	1200	1250
両開き	1800	1900

10 鋼製軽量建具 (5.5.2)(5.5.5)(5.2.2)(2)(5.5.3)(5.5.4)(5.6.3)(1)(5.2.3)(1)  
鋼製軽量建具の性能等級  
・ 簡易気密性ドアセット  
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )  
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )  
・ 耐震ドアセット (等級 )  
・ H2400又はH950の建具  
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号: )

表面仕上げ  
・ 塗装  
・ ビニル被覆鋼板  
・ カラー鋼板  
・ ステンレス鋼板 ( ・ HL ・ 鏡面 ) ・ ( )

11 ステンレス製建具 (5.6.2)(5.4.2)  
ステンレス製建具の性能等級  
・ 簡易気密性ドアセット  
・ 外部に面する建具の耐風圧  
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6  
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級 )  
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級 )  
・ 耐震ドアセット (等級 )

材料 ・ SUS304 ・ ( )  
表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ( )  
曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ

12 木製建具 (5.7.2)

含水率 ・ A種 ・ B種  
・ フラッシュ戸 表面材 ・ ( )  
厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6 ・ ( )  
表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(イ)(a)~(c) ・ ( )  
・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ ( )  
曲げ強さによる区分 ・ ( )  
接着剤による区分 ・ ( )  
難燃性による区分 ・ ( )  
・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする

・ かまち戸 見込み寸法 ・ 36mm ・ ( )  
かまち及び鏡板の樹種 ・ ( )

・ ふすま 見込み寸法 ・ 19.5mm ・ ( )  
種別 ・ I種 ・ II種  
ふすま紙の上張り種類 ・ ( )  
線の仕上げ ・ ( )

・ 戸ぶすま 見込み寸法 ・ 30mm ・ ( )  
表面材 ・ ( )  
厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6 ・ ( )  
表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(イ)(a)~(c) ・ ( )  
・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ ( )  
曲げ強さによる区分 ・ ( )  
接着剤による区分 ・ ( )  
難燃性による区分 ・ ( )  
・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする  
上張りの種類 ・ ( )

・ 紙張り障子 見込み寸法 ・ 30mm ・ ( )  
枠及びかつずりの材料 ・ ( )

13 建具用金物 (5.8.2)  
金物の見え掛かり部等の材質等  
・ 改修標準仕様書(表5.8.1)による  
・ 図示 (図面番号: )

(5.8.4) マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない  
引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要

14 自動ドア開閉装置 (5.9.2)  
駆動装置及び検出装置の性能値 ( ・ 車椅子使用者用便房出入口 )  
・ 図示 (図面番号: )

(5.9.3)(表5.9.4)(5.9.3)(9) 引き戸用検出装置の種類 ・ 図示 (図面番号: )  
凍結防止措置 ・ あり ・ なし

15 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)  
自閉式上吊り引戸装置の性能値  
・ 改修標準仕様書(表5.10.1)による ・ ( )

16 重量シャッター (5.11.2)  
種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター  
・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター

耐風圧強度 ( Pa以上)

開閉機能 (表5.11.1)  
・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式

(5.11.2)(6)(5.11.3) 管理用重量シャッターのシャッターケース  
・ 設ける ・ 設けない  
・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ( )

17 軽量シャッター (5.12.2)(表5.12.1)(5.12.3)(5.12.4)  
開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式  
耐風圧強度 ( Pa以上)  
スラットの材質及び形状  
・ インターロック形  
・ オーバーラッピング形  
・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ( )  
JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ( )

18 オーバーヘッドドア (5.13.2)  
型式及び機構  
セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ  
耐風圧強度 ( Pa以上)  
開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式  
収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形  
ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板  
・ 図示 (図面番号: )

19 板ガラス (5.14.2)(1)(5.14.3)  
・ 図示 (図面番号: )

(20) ガラス留め材 (5.14.2)(2)  
・ シーリング ・ ガスケット ( )

21 ガラス溝の寸法、形状等 (5.14.3)  
・ 図示 (図面番号: )  
・ 建具の製造所の仕様による

22 ガラスブロック積み (5.14.5)  
ガラスブロック  
表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号: )  
金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号: )  
化粧カバー ・ 図示 (図面番号: )  
工法 ・ 図示 (図面番号: )  
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

6 内装改修工事

1 一般事項 (6.1.3)(2)  
既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改修範囲
・ 天井	・ 壁厚程度 ・ 図示 (図面番号: )
・ 壁	・ 壁厚程度 ・ 図示 (図面番号: )
・ 床	・ 壁厚程度 ・ 図示 (図面番号: )

(6.1.3)(3) 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 壁面から600mm程度 ・ 図示 (図面番号: )  
・ ( )

(6.1.3)(5) 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 既存のまま ・ 図示 (図面番号: ) ・ ( )

2 既存床撤去、下地補修 (6.2.2)(1)(7)(6.2.2)(1)(4)  
既存床仕上げ材の除去等  
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ・ 行わない

合成樹脂塗材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)  
既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ( )



9 つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-6) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別	下地	種別
	コンクリート、モルタル、 プaster、せつこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )	
	木部(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	
	鉄鋼面(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	
亜鉛めっき鋼面(屋内)	・ A種 ・ B種		
10 合成樹脂エマ ルジョンペイン ト塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )	
11 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.11.2) (表7.11.1)	種別	・ A種 ・ B種	
12 スティン塗り (7.12.2) (表7.12.1)	種類	・ ビグメントスティン塗り ・ オイルスティン塗り オイルスティン塗りの工程、塗料 ( )	
13 木材保護塗料 塗り(WP) (7.13.2) (表7.13.1)	種別	・ A種 ・ B種	

8 の 1 耐震改修工事 共通事項	(一般事項) 1 適用範囲 (8.1.1) (8.1.2)	<p>工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</li> <li>鉄骨ブレースの設置工事</li> <li>柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)</li> <li>柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)</li> <li>連続繊維補強工事</li> <li>耐震スリット新設工事</li> <li>免震改修・制振改修工事</li> </ul> <p>工事種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋工事</li> <li>あと施工アンカー工事</li> <li>コンクリート工事</li> <li>鉄骨工事</li> <li>グラウト工事</li> <li>連続繊維補強工事</li> <li>スリット新設工事</li> <li>免震改修・制振改修工事</li> <li>土工事及び地業工事</li> </ul>
-------------------------------	--	--

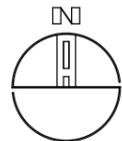
8 の 2 耐震改修工事 撤去工事	1 既存部分の撤去 等 (8.21.2)	<p>撤去の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示(図面番号: )</li> <li>新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分</li> <li>既存コンクリート撤去範囲に面する部分</li> <li>( )</li> </ul> <p>既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置</p> <p>本工事の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分</li> <li>設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。</li> <li>( )</li> </ul> <p>撤去範囲 図示(図面番号: )</p>											
	2 既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.4)	<p>既存構造体の撤去</p> <p>撤去範囲 図示(図面番号: )</p> <p>はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鉄筋の切断</th> <th>範囲</th> <th>適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 既存鉄筋は切断せず残す</td> <td>・ 図示(図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ( ) ・ 適用なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する</td> <td>・ 図示(図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ( ) ・ 適用なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する</td> <td>・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ( )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>はつりだした鉄筋の処置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。</li> <li>( )</li> </ul> <p>はつりだした鉄骨の処置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発泡スチロール等で養生する。</li> <li>( )</li> </ul> <p>既存構造体の撤去</p> <p>既存構造体コンクリート面の表層目荒らし</p> <p>目荒らし程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平均深さ2~5mmで最大深さ5~7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15~30%程度の面積となるように施す。</li> <li>図示(図面番号: )</li> </ul>	鉄筋の切断	範囲	適用	・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示(図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ( ) ・ 適用なし		・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示(図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ( ) ・ 適用なし		・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ( )
鉄筋の切断	範囲	適用											
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示(図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ( ) ・ 適用なし												
・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示(図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ( ) ・ 適用なし												
・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ( )												

特記事項	3 既存構造体コンクリートの表層目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	
------	--	--

8 の 3 耐震改修工事 鉄筋工事	1 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)	<p>材料 改修標準仕様書(表8.2.1)による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ SD295</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD390</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	径(mm)	・ SD295		・ SD345		・ SD390		・ ( )														
	種別	径(mm)																							
	・ SD295																								
	・ SD345																								
	・ SD390																								
	・ ( )																								
	2 溶接金網 (8.2.2)	<p>網目の形状、寸法及び鉄線の径</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>網目の形状、寸法</th> <th>鉄線の径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)																					
	網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)																							
3 加工 (8.3.2)	90°未満の折曲げの内法直径 図示(図面番号: )																								
4 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>径</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重ね継手</td> <td>・ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス圧接</td> <td>・ D19以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書(8.3.4)(3)(7)による</li> <li>図示(図面番号: )</li> </ul> <p>継手位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各部配筋参考図による</li> <li>図示(図面番号: )</li> </ul> <p>先組み工法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける</li> </ul> <p>鉄筋の定着長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書(表8.3.4)による</li> <li>(表8.3.4)のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 図示(図面番号: )</li> <li>図示(図面番号: )</li> </ul> <p>機械式定着工法 適用箇所( ) 種類( )</p> <p>帯筋組立の形、継手及び定着 図示(図面番号: )</p> <p>鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ( ) mm</p>		径	部位	重ね継手	・ D16以下		ガス圧接	・ D19以上																
	径	部位																							
重ね継手	・ D16以下																								
ガス圧接	・ D19以上																								
5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5) (表8.3.6)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ( ) mm																								
6 各部配筋 (8.3.8)	図示(図面番号: )																								
7 ガス圧接 (8.3.8)	<p>圧接完了後の試験</p> <p>超音波探傷試験 行う 行わない</p>																								
(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>材種</th> <th>径</th> <th>本数・ピッチ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ スパイラル筋</td> <td>・ 鉄筋コンクリート用</td> <td>・ R235</td> <td>・ 6φ</td> <td>スパイラルの径(mm)</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 棒鋼</td> <td>・ ( )</td> <td>・ 9φ</td> <td>( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> <td>スパイラルのピッチ(mm)</td> <td>( )</td> </tr> </tbody> </table>	種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所	・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用	・ R235	・ 6φ	スパイラルの径(mm)	・ 図示(図面番号: )		・ 棒鋼	・ ( )	・ 9φ	( )			・ ( )	・ ( )	・ ( )	スパイラルのピッチ(mm)	( )
種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所																				
・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用	・ R235	・ 6φ	スパイラルの径(mm)	・ 図示(図面番号: )																				
	・ 棒鋼	・ ( )	・ 9φ	( )																					
	・ ( )	・ ( )	・ ( )	スパイラルのピッチ(mm)	( )																				

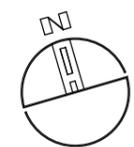
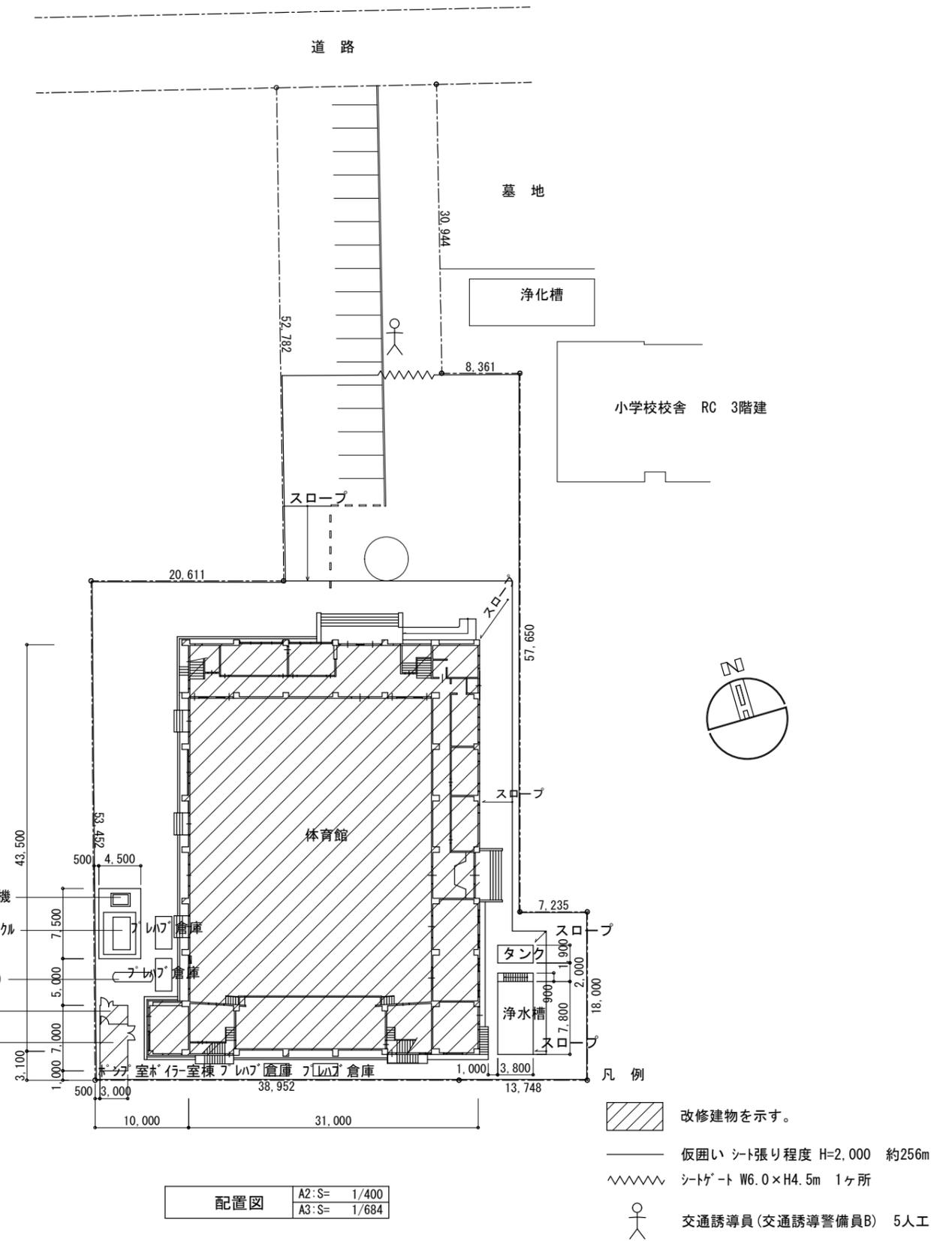
8 の 4 耐震改修工事 コンクリート工事	(コンクリート工事一般事項)	<p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>I類</li> <li>II類</li> </ul>																			
	1 コンクリートの種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)	<p>普通コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度F<sub>c</sub> [N/mm<sup>2</sup>]</th> <th>適用範囲</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 24</td> <td>・ 2.3t/m<sup>3</sup>程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ( )</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ	・ 24	・ 2.3t/m <sup>3</sup> 程度			・ ( )										
	設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ																	
	・ 24	・ 2.3t/m <sup>3</sup> 程度																			
・ ( )																					
(8.9.1) (8.9.2) (表8.9.1)	<p>軽量コンクリートの設計基準強度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度F<sub>c</sub> [N/mm<sup>2</sup>]</th> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> <th>気乾単位容積質量</th> <th>スランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ( )</td> <td>・ 1種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 2種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ( )</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ]	種類	適用箇所	気乾単位容積質量	スランプ	・ ( )	・ 1種					・ 2種					・ ( )			
設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ]	種類	適用箇所	気乾単位容積質量	スランプ																	
・ ( )	・ 1種																				
	・ 2種																				
	・ ( )																				
2 構造体コンクリートの仕上り (8.1.4) (表8.1.4) (表8.1.5)	<p>合板せき板を用いる場合の打放し仕上りの種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種</li> <li>B種</li> <li>C種</li> </ul> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a種</li> <li>b種</li> <li>c種</li> </ul>																				

8 の 5 耐震改修工事 その他	4 混和材料 (8.2.5)	<p>骨材</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> <li>B</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>特殊な骨材の使用</li> <li>フェロニッケルスラグ骨材</li> <li>銅スラグ骨材</li> <li>電気炉酸化スラグ骨材</li> <li>再生骨材H(普通エコセメントを使用するコンクリートに限る)</li> </ul> <p>混和剤</p> <p>混和剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書(8.2.5)(4)(a)による</li> <li>図示(図面番号: )</li> </ul> <p>混和材</p> <p>混和材の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書(8.2.5)(4)(b)による</li> <li>図示(図面番号: )</li> </ul>																		
	5 調査管理強度 (8.2.5) (8.3.3) (8.10.2)	<p>構造体強度補正值(S)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3N/mm<sup>2</sup></li> <li>6N/mm<sup>2</sup></li> <li>( )</li> </ul>																		
	6 養生 (8.7.7)	普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 ( )																		
	7 型枠 (8.2.7) (8.7.8)	<p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複合合板(厚さ・12mm ( ) )</li> </ul> <p>スリーブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材種( ) 規格( )</li> </ul> <p>型枠存置期間及び取外し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通エコセメント使用の場合の最小存置期間( )</li> </ul>																		
	8 量中コンクリート (8.10.2)	<p>構造体強度補正值(S)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6N/mm<sup>2</sup></li> <li>( )</li> </ul>																		
	9 無筋コンクリート (8.11.1)	<p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通コンクリート ( )</li> </ul> <p>設計基準強度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>18N/mm<sup>2</sup> ( )</li> </ul> <p>スランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>15cm</li> <li>18cm</li> <li>( )</li> </ul>																		
	(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	<p>部別別のコンクリートの打設工法の指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</td> <td>・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ 工法指定なし</td> <td>・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> </tr> </tbody> </table>	補強工法	打設工法	部位	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )		・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )
	補強工法	打設工法	部位																	
	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																	
		・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																	
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																		
	・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																		
	・ 圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																		
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																		
10 コンクリートの打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)	<p>現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</p> <p>打込み工法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示(図面番号: )</li> </ul>																			
(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事)	<p>柱頭柱脚の隙間部間の型枠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発泡プラスチック保温材等を埋込む</li> <li>( )</li> </ul> <p>柱頭柱脚の隙間寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示(図面番号: )</li> </ul> <p>打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示(図面番号: ) 60mm ( )</li> </ul>																			
11 増設工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	図示(図面番号: )																			



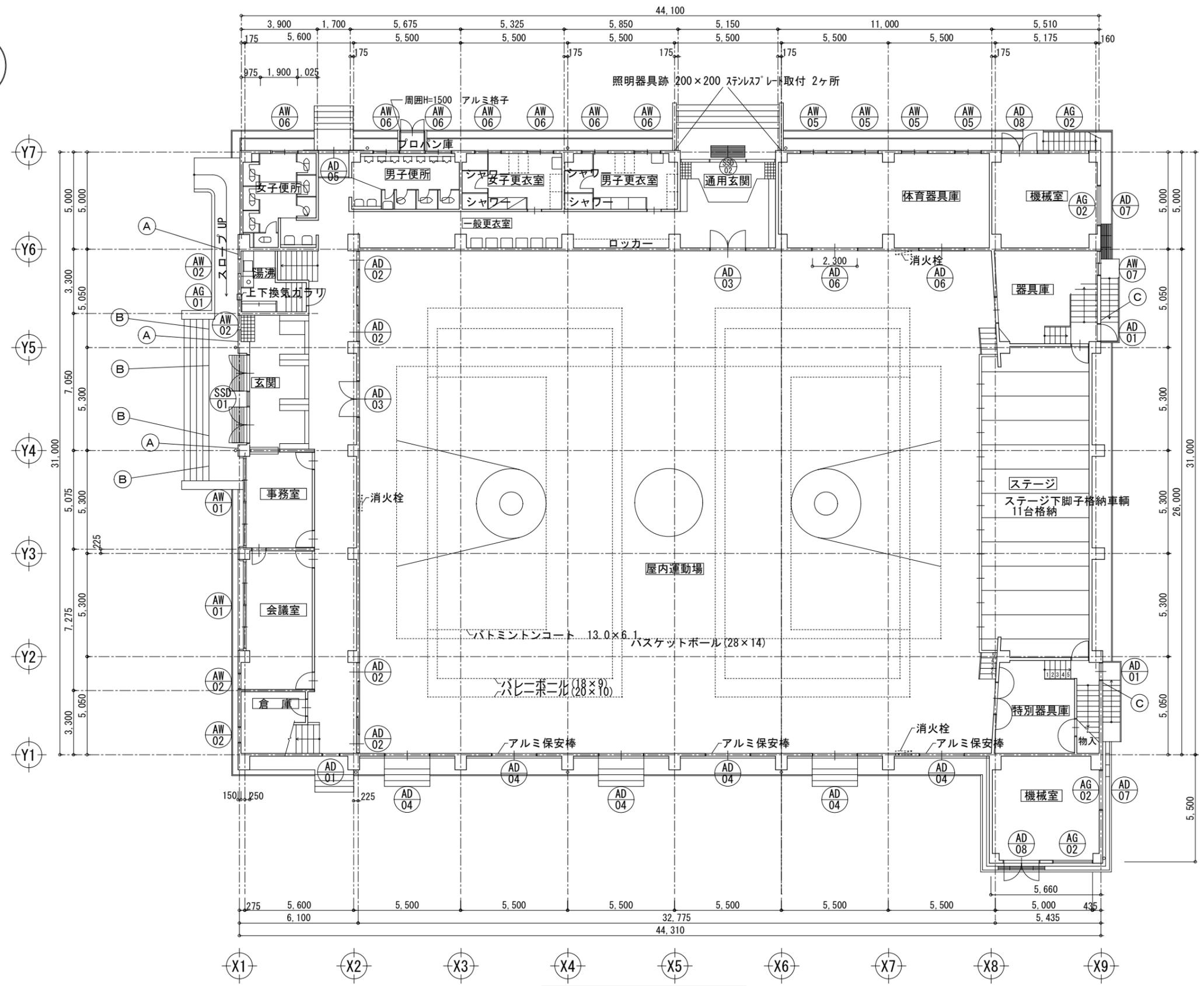
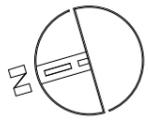
工事場所：三重県桑名市木曾岬町田代168  
 「国土地理院 地理院地図」を加工して作成

付近見取図



特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S= 1/400 A3:S= 1/684	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番	年月日
					図名 付近見取図・配置図(仮設図)	No. A 06	令和6年10月

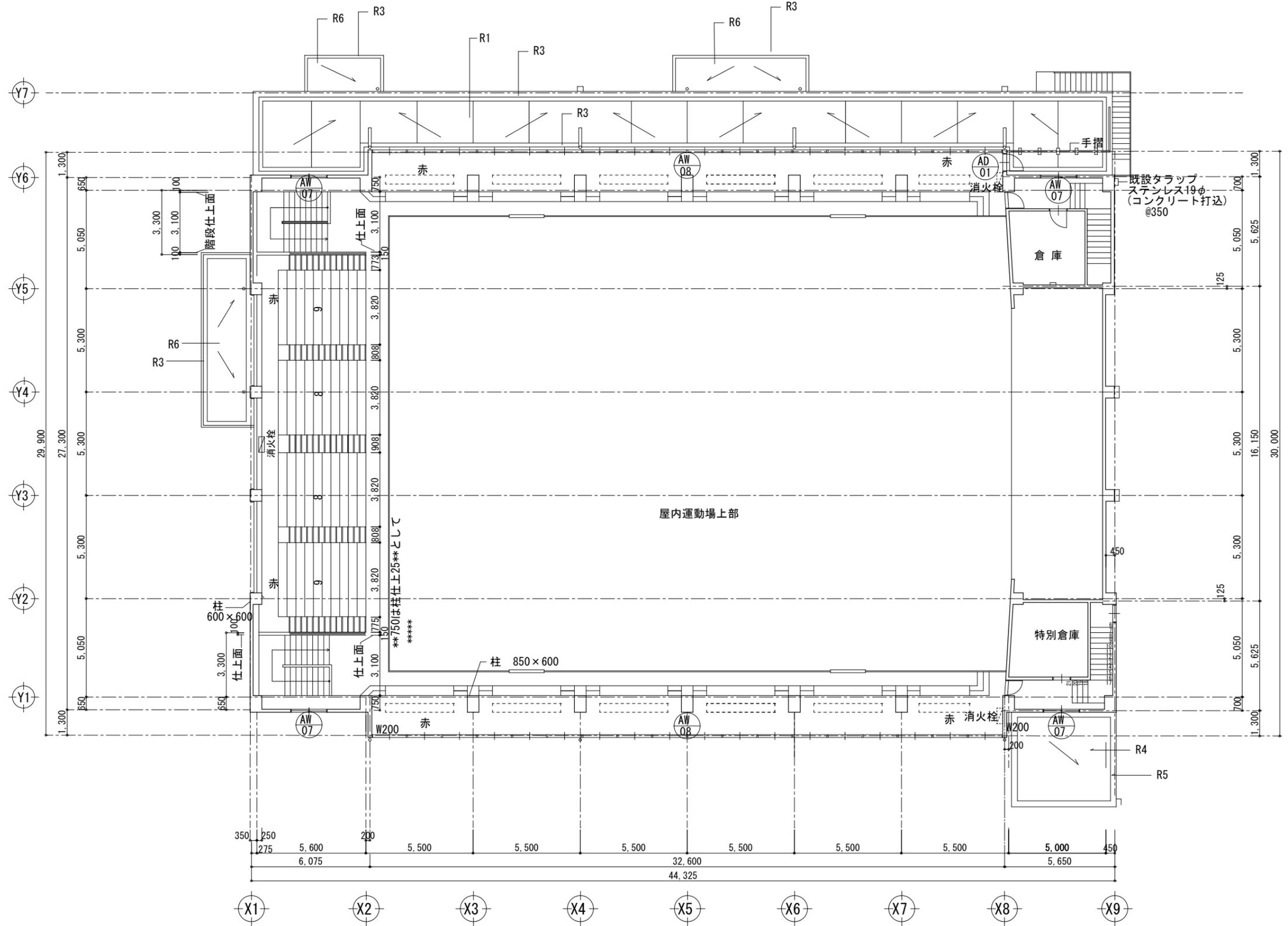
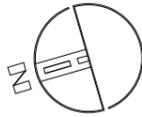
外部仕上表 (体育館)				外部仕上表 (ボイラ室ホップ室棟)																																																																								
部位	細部位	記号	区分	仕上	部位	細部位	記号	区分	仕上																																																																			
屋根	大屋根	Y1	改修前	t=25m/m スタイロフォーム下地 カラ-7mm板 0.5) 瓦棒葺	陸屋根	平部	R4	改修前	t=15m/m均しモルタルの上 シート防水指定色仕上げ (t=1.2m/m)																																																																			
			改修後	水洗い工法、下地調整の上 屋根塗替(断熱又は遮熱仕様:ルーフ・ストール程度)				改修後	既設防水撤去、下地処理、下地調整の上 塗膜防水(RP0-ST30A シルバ-仕上程度)																																																																			
	大屋根 棟包み部	Y2	改修前	カラ-7mm板 0.5		立上り	R5	改修前	コンクリート打放し補修の上 シート防水指定色仕上げ (t=1.2m/m)																																																																			
			改修後	既設の上水切りかぶせ ガルバリウム鋼板カラ- t=0.6				改修後	既設防水撤去、下地処理、下地調整の上 塗膜防水(RP0-ST30A シルバ-仕上程度)																																																																			
	軒樋部 平部	Y3	改修前	t=15m/m均しモルタルの上 アスファルト露出防水		笠木	R3	改修前	防水モルタル仕上																																																																			
改修後			下地処理、下地調整の上 塗膜防水(RK0-SG30A シルバ-仕上程度)	改修後	下地処理、下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 X-2																																																																							
軒樋部 立上り	Y4	改修前	コンクリート打放し補修の上 アスファルト露出防水	ドレイン	R8	改修前	鑄鉄製 100φ用																																																																					
		改修後	既設防水層撤去下地処理、下地調整の上 塗膜防水(RK0-SG30A シルバ-仕上程度)			改修後	既設ドレイン撤去、改修用ドレイン(二重ドレイン 鉛製 100φ用 キャップ 共)																																																																					
笠木	Y5	改修前	防水モルタル仕上	外壁	外壁(吹付タイル面)	G1	改修前	モルタル刷毛引 吹付タイル ローラー押し																																																																				
		改修後	下地処理、下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 X-2				改修後	高圧水洗い、下地調整材C-2の上 防水形複層塗材E																																																																				
東側1F屋根 平部	R1	改修前	コンクリート金ゴテ押エの上 アスファルト防水 ?瓦砂利コンクリート金ゴテ目地切仕上げ (t=30スタイロフォーム打込み)		巾木	G3	改修前	モルタル金ゴテ仕上																																																																				
		改修後	下地処理、下地調整の上 塗膜防水(RP0-ST30A シルバ-仕上程度)、既設伸縮目地撤去処理				改修後	高圧水洗い、モルタル薄塗(厚3.0mm程度)																																																																				
東側1F屋根 立上り	R2	改修前	コンクリート打放し補修の上 アスファルト防水 保護コンクリート仕上		外壁シーリング	G4	改修前	変成シリコン系 10×10																																																																				
		改修後	下地処理、下地調整の上 塗膜防水(RP0-ST30A シルバ-仕上程度)	改修後			既設シーリング 撤去、下地清掃の上 変成シリコン系 10×10																																																																					
笠木	R3	改修前	防水モルタル仕上	その他	縦樋	Z1	改修前	塩ビ製 100φ																																																																				
		改修後	下地処理、下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 X-2				改修後	下地処理RB種、耐候性塗料塗 DP(3級B種)																																																																				
機械室屋根 平部	R4	改修前	t=15m/m均しモルタルの上 シート防水指定色仕上げ (t=1.2m/m)		飾り樹	Z2	改修前	塩ビ製																																																																				
		改修後	既設防水撤去、下地処理、下地調整の上 塗膜防水(RP0-ST30A シルバ-仕上程度)				改修後	下地処理RB種、耐候性塗料塗 DP(3級B種)																																																																				
機械室屋根 立上り	R5	改修前	コンクリート打放し補修の上 シート防水指定色仕上げ (t=1.2m/m)		配水管	Z6	改修前	ステンスラッキング																																																																				
		改修後	既設防水撤去、下地処理、下地調整の上 塗膜防水(RP0-ST30A シルバ-仕上程度)	改修後			既設撤去、ステンスラッキング 新設																																																																					
庇 平部	R6	改修前	t=15m/m均しモルタルの上 シート防水指定色仕上げ (t=1.2m/m)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">外壁補修</th> <th colspan="2">数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">RC壁部分モルタル浮き補修</td> <td>体育館</td> <td>ボイラ室ホップ室</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ビソニック部分エポキシ樹脂注入工法 : 全彩切りステンレスビソニック 16本/m<sup>2</sup>・30g/穴</td> <td>280.0m<sup>2</sup></td> <td>23.2m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">RC壁部分ひび割れ補修</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(1) 0.2mm未満のひび割れ(ひび割れシール工法) : 可とう性エポキシ樹脂 幅10・厚2mm 平坦仕上げ 仕上材塗装</td> <td>140.0m</td> <td>23.2m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(2) 0.2mm以上1.0mm以下のひび割れ(自動式エポキシ樹脂注入工法) : 座金付パイプ 取付、シール後注入・撤去、平坦仕上げ 仕上材塗装</td> <td>280.0m</td> <td>23.2m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(3) 1.0mmを超えるひび割れ(Uカットシール充填工法) : Uカット(幅10・深さ10mm以上) 清掃後 プライマー塗布、可とう性エポキシ樹脂充填、平坦仕上げ 仕上材塗装</td> <td>140.0m</td> <td>23.2m</td> </tr> <tr> <td colspan="2">RC壁部分剥離欠損部 補修</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(1) エポキシ樹脂モルタル充填工法 : 欠損部はつり、清掃後プライマー塗布、エポキシ樹脂・モルタル充填 金ゴテ等で平滑仕上げ 仕上材塗装</td> <td>0.60m<sup>2</sup></td> <td>0.60m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td colspan="2">軒天部分ひび割れ補修</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(1) 0.2mm未満のひび割れ(ひび割れシール工法) : 可とう性エポキシ樹脂 幅10・厚2mm 平坦仕上げ 仕上材塗装</td> <td>5.7m</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(2) 0.2mm以上1.0mm以下のひび割れ(自動式エポキシ樹脂注入工法) : 座金付パイプ 取付、シール後注入・撤去、平坦仕上げ 仕上材塗装</td> <td>11.4m</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">(3) 1.0mmを超えるひび割れ(Uカットシール充填工法) : Uカット(幅10・深さ10mm以上) 清掃後 プライマー塗布、可とう性エポキシ樹脂充填、平坦仕上げ 仕上材塗装</td> <td>5.7m</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">防水改修</td> <td>下地処理</td> <td>ケレン・ブラシ</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>下地調整</td> <td>セメントペース塗</td> </tr> <tr> <td colspan="2">外壁改修</td> <td>高圧洗浄</td> <td>圧力30~50MPa</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>下地調整</td> <td>C-1</td> </tr> </tbody> </table>					外壁補修		数量		RC壁部分モルタル浮き補修		体育館	ボイラ室ホップ室	ビソニック部分エポキシ樹脂注入工法 : 全彩切りステンレスビソニック 16本/m <sup>2</sup> ・30g/穴		280.0m <sup>2</sup>	23.2m <sup>2</sup>	RC壁部分ひび割れ補修				(1) 0.2mm未満のひび割れ(ひび割れシール工法) : 可とう性エポキシ樹脂 幅10・厚2mm 平坦仕上げ 仕上材塗装		140.0m	23.2m	(2) 0.2mm以上1.0mm以下のひび割れ(自動式エポキシ樹脂注入工法) : 座金付パイプ 取付、シール後注入・撤去、平坦仕上げ 仕上材塗装		280.0m	23.2m	(3) 1.0mmを超えるひび割れ(Uカットシール充填工法) : Uカット(幅10・深さ10mm以上) 清掃後 プライマー塗布、可とう性エポキシ樹脂充填、平坦仕上げ 仕上材塗装		140.0m	23.2m	RC壁部分剥離欠損部 補修				(1) エポキシ樹脂モルタル充填工法 : 欠損部はつり、清掃後プライマー塗布、エポキシ樹脂・モルタル充填 金ゴテ等で平滑仕上げ 仕上材塗装		0.60m <sup>2</sup>	0.60m <sup>2</sup>	軒天部分ひび割れ補修				(1) 0.2mm未満のひび割れ(ひび割れシール工法) : 可とう性エポキシ樹脂 幅10・厚2mm 平坦仕上げ 仕上材塗装		5.7m		(2) 0.2mm以上1.0mm以下のひび割れ(自動式エポキシ樹脂注入工法) : 座金付パイプ 取付、シール後注入・撤去、平坦仕上げ 仕上材塗装		11.4m		(3) 1.0mmを超えるひび割れ(Uカットシール充填工法) : Uカット(幅10・深さ10mm以上) 清掃後 プライマー塗布、可とう性エポキシ樹脂充填、平坦仕上げ 仕上材塗装		5.7m		防水改修		下地処理	ケレン・ブラシ			下地調整	セメントペース塗	外壁改修		高圧洗浄	圧力30~50MPa			下地調整	C-1
		外壁補修							数量																																																																			
RC壁部分モルタル浮き補修		体育館	ボイラ室ホップ室																																																																									
ビソニック部分エポキシ樹脂注入工法 : 全彩切りステンレスビソニック 16本/m <sup>2</sup> ・30g/穴		280.0m <sup>2</sup>	23.2m <sup>2</sup>																																																																									
RC壁部分ひび割れ補修																																																																												
(1) 0.2mm未満のひび割れ(ひび割れシール工法) : 可とう性エポキシ樹脂 幅10・厚2mm 平坦仕上げ 仕上材塗装		140.0m	23.2m																																																																									
(2) 0.2mm以上1.0mm以下のひび割れ(自動式エポキシ樹脂注入工法) : 座金付パイプ 取付、シール後注入・撤去、平坦仕上げ 仕上材塗装		280.0m	23.2m																																																																									
(3) 1.0mmを超えるひび割れ(Uカットシール充填工法) : Uカット(幅10・深さ10mm以上) 清掃後 プライマー塗布、可とう性エポキシ樹脂充填、平坦仕上げ 仕上材塗装		140.0m	23.2m																																																																									
RC壁部分剥離欠損部 補修																																																																												
(1) エポキシ樹脂モルタル充填工法 : 欠損部はつり、清掃後プライマー塗布、エポキシ樹脂・モルタル充填 金ゴテ等で平滑仕上げ 仕上材塗装		0.60m <sup>2</sup>	0.60m <sup>2</sup>																																																																									
軒天部分ひび割れ補修																																																																												
(1) 0.2mm未満のひび割れ(ひび割れシール工法) : 可とう性エポキシ樹脂 幅10・厚2mm 平坦仕上げ 仕上材塗装		5.7m																																																																										
(2) 0.2mm以上1.0mm以下のひび割れ(自動式エポキシ樹脂注入工法) : 座金付パイプ 取付、シール後注入・撤去、平坦仕上げ 仕上材塗装		11.4m																																																																										
(3) 1.0mmを超えるひび割れ(Uカットシール充填工法) : Uカット(幅10・深さ10mm以上) 清掃後 プライマー塗布、可とう性エポキシ樹脂充填、平坦仕上げ 仕上材塗装		5.7m																																																																										
防水改修		下地処理	ケレン・ブラシ																																																																									
		下地調整	セメントペース塗																																																																									
外壁改修		高圧洗浄	圧力30~50MPa																																																																									
		下地調整	C-1																																																																									
庇 立上り	R7	改修前	コンクリート打放し補修の上 シート防水指定色仕上げ (t=1.2m/m)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																														
		特記事項							設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																																								
		No. A									07	令和6年10月																																																																
		計							公益財団法人 三重県建設技術センター				外部仕上表																																																															
ドレイン	R8	改修前	鑄鉄製 100φ用						<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																									
		特記事項												設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																																			
		No. A														07	令和6年10月																																																											
		計												公益財団法人 三重県建設技術センター				外部仕上表																																																										
防水押え	R9	改修前	アルミ製フラットバ-押え											<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																				
		特記事項																	設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																														
		No. A																			07	令和6年10月																																																						
		計																	公益財団法人 三重県建設技術センター				外部仕上表																																																					
軒裏	N1	改修前	ベニヤ型枠コンクリート打放し 吹付タイルローラー押し メタリック仕上げ																<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																															
		特記事項																						設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																									
		No. A																								07	令和6年10月																																																	
		計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																																																						
軒裏(ホ-ト面)	N2	改修前	大平板 t=5 アクリル系リソ吹付	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																				特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																															
		特記事項																						設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																									
		No. A																								07	令和6年10月																																																	
		計							公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																																																	
外壁(吹付タイル面)	G1	改修前	モルタル刷毛引 吹付タイル ローラー押し						<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>															特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																															
		特記事項																						設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																									
		No. A																								07	令和6年10月																																																	
		計												公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																																												
外壁(タイル面)	G2	改修前	モルタル下地 小口タイル貼											<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																															
		特記事項																						設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																									
		No. A																								07	令和6年10月																																																	
		計																	公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																																							
巾木	G3	改修前	モルタル金ゴテ仕上																<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																															
		特記事項																						設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																									
		No. A																								07	令和6年10月																																																	
		計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																																																						
外壁シーリング	G4	改修前	変成シリコン系 10×10	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																				特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																															
		特記事項																						設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																									
		No. A																								07	令和6年10月																																																	
		計							公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																																																	
縦樋	Z1	改修前	塩ビ製 100φ						<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>															特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																															
		特記事項																						設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																									
		No. A																								07	令和6年10月																																																	
		計												公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																																												
飾り樹	Z2	改修前	塩ビ製											<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																															
		特記事項																						設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																									
		No. A																								07	令和6年10月																																																	
		計																	公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																																							
水抜きパイプ	Z3	改修前	塩ビ製 50φ																<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																															
		特記事項																						設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																									
		No. A																								07	令和6年10月																																																	
		計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																																																						
換気ガラリ	Z4	改修前	SUS製	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																				特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																															
		特記事項																						設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																									
		No. A																								07	令和6年10月																																																	
		計							公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																																																	
梁天端等	Z5	改修前	防水モルタル仕上						<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>															特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																															
		特記事項																						設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																									
		No. A																								07	令和6年10月																																																	
		計												公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																																												
		改修後	下地処理、下地調整の上 ウレタン系塗膜防水 X-2											<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">特記事項</th> <th rowspan="2">設</th> <th rowspan="2">縮</th> <th rowspan="2">A2:S= NON A3:S= NON</th> <th rowspan="2">木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事</th> <th colspan="2">図番</th> <th rowspan="2">年月日</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="2">No. A</th> <th rowspan="2">07</th> <th rowspan="2">令和6年10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">計</td> <td colspan="2">公益財団法人 三重県建設技術センター</td> <td colspan="2">外部仕上表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										特記事項		設	縮	A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番		年月日			No. A		07	令和6年10月			計		公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																															
		特記事項																						設	縮					A2:S= NON A3:S= NON	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		年月日																																									
		No. A																								07	令和6年10月																																																	
		計																	公益財団法人 三重県建設技術センター		外部仕上表																																																							



1階平面図  
A2:S= 1/150  
A3:S= 1/257

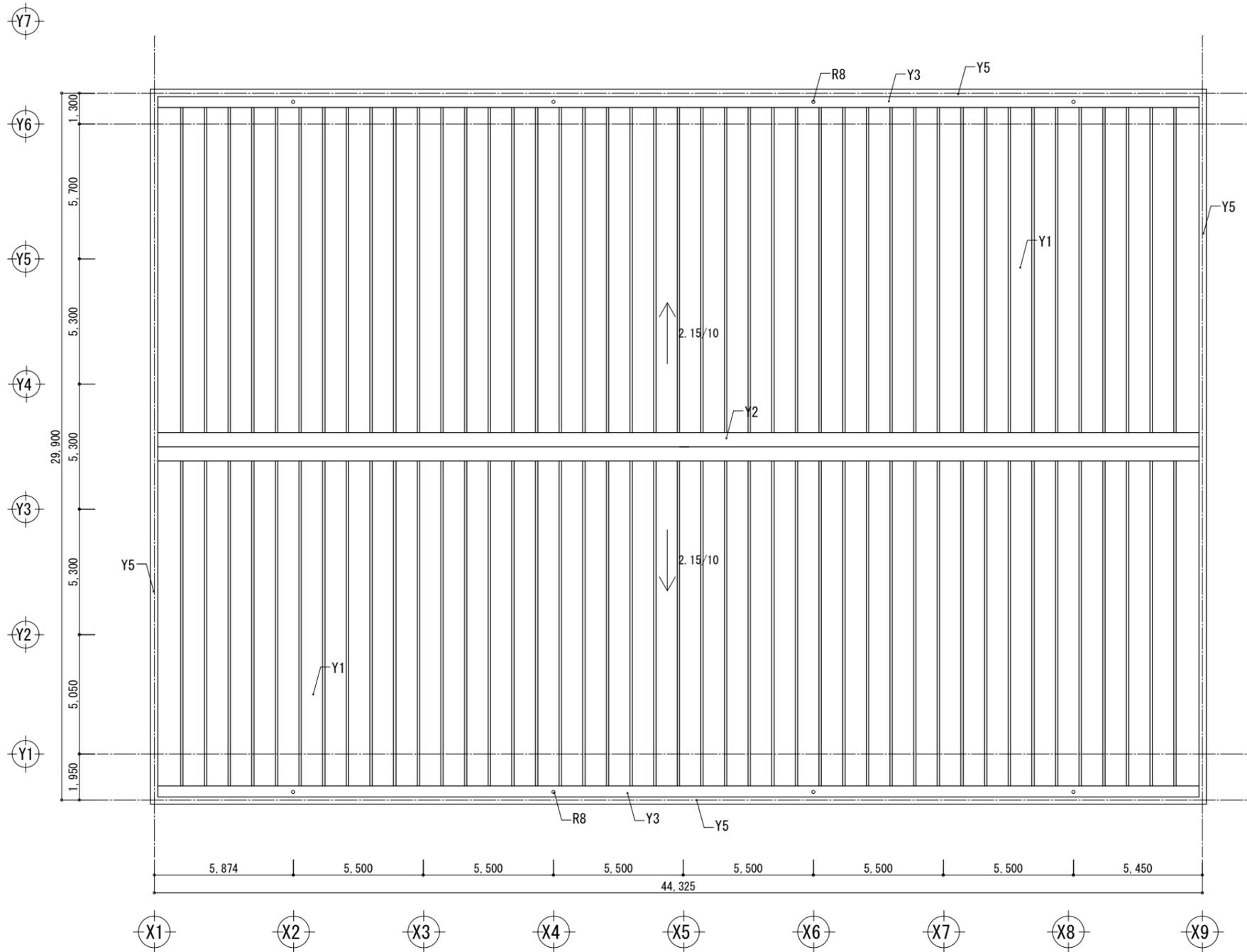
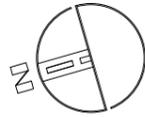
北側壁面 3ヶ所	
<p>昼白色(5000K) 拡散タイプ、防雨型、柵方式 7段タイバズ(シルバーメタリック)、カバー(アクリル乳白) 光源寿命40000時間 XLGE8116CF1</p>	
北側底下部 4ヶ所	
<p>軒下用(防雨型) 本体:7段(オフ)ラックつや消し仕上) ハズル(アクリル透明つや消し) 天井直付型 光源寿命40000時間 NNN53820B</p>	
南側非常階段 2ヶ所	
<p>防雨型、ひと(熱線)セキEEセキ付(約30~100%段調光 5000K、光束維持時間40000時間 本体:ステンレスカバー(カーボネート(乳白) 壁直付型 NNFS21852OLE9</p>	
※上記A B Cの器具取替を行うこと。	

特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S= 1/150 A3:S= 1/257	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番	年月日
					図名 1階平面図		No. A 08	令和6年10月



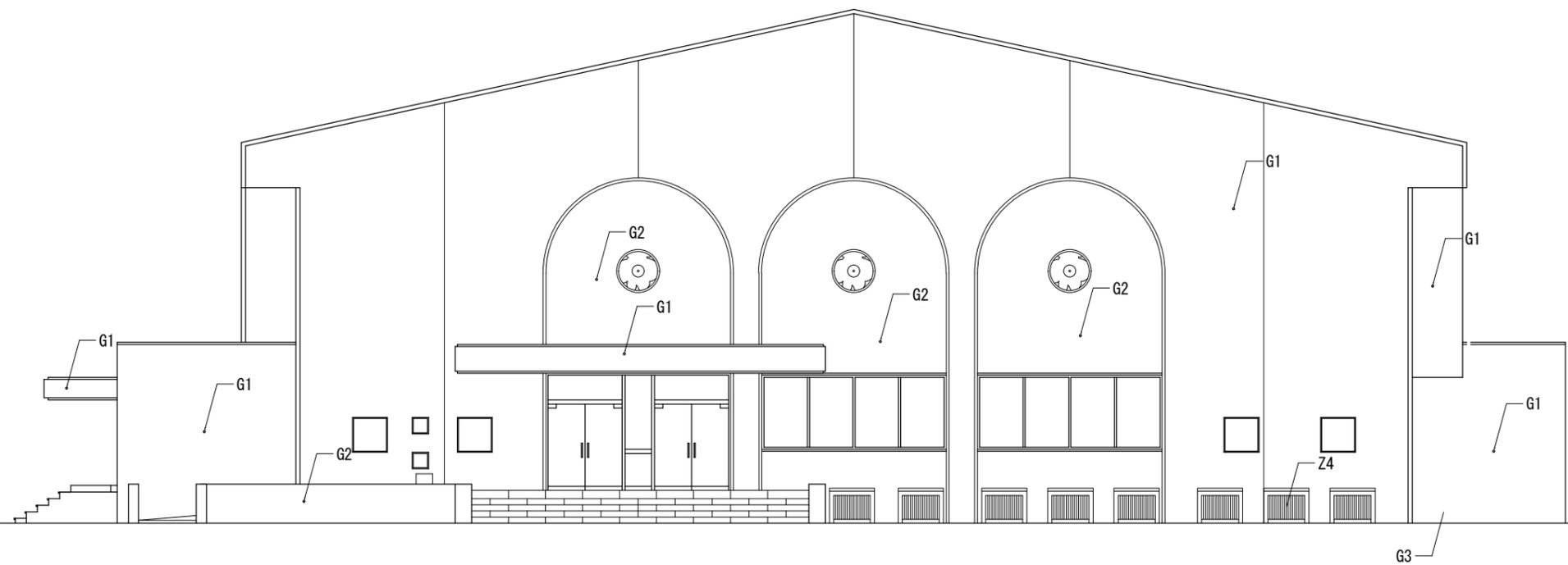
2階平面図  
 A2:S= 1/150  
 A3:S= 1/257

特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S= 1/150 A3:S= 1/257	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番	年月日
					図名	No. A 09	令和6年10月

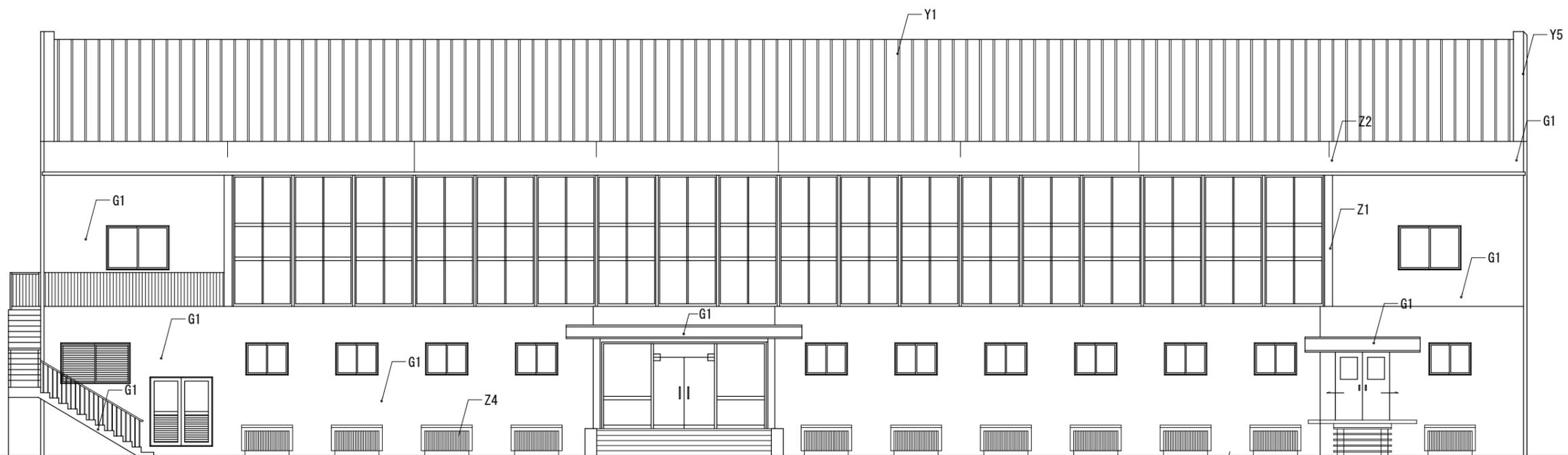


屋根伏図 A2:S= 1/150  
A3:S= 1/257

特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S= 1/150 A3:S= 1/257	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番	年月日
					図名 屋根伏図	No. A 10	令和6年10月

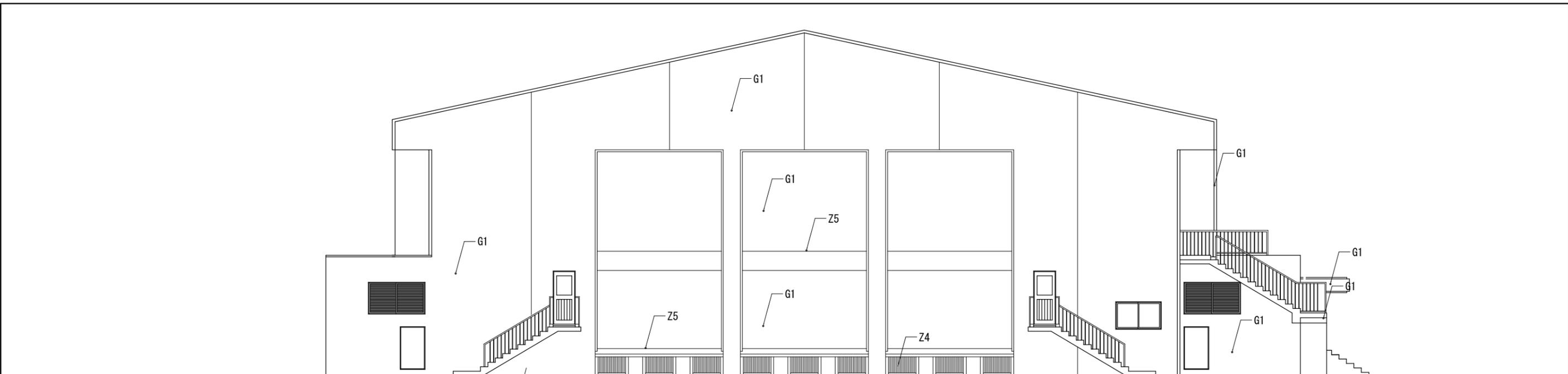


北立面図 A2:S= 1/100  
A3:S= 1/171

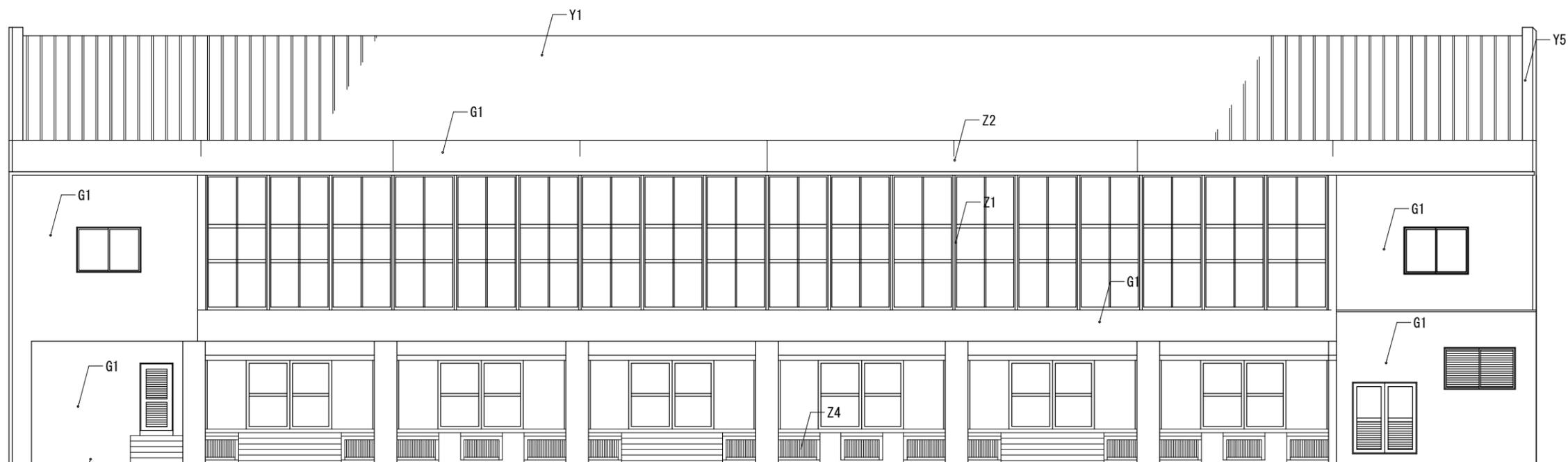


東立面図 A2:S= 1/100  
A3:S= 1/171

特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S= 1/100 A3:S= 1/171	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番	年月日
					図名 立面図1	No. A 11	令和6年10月

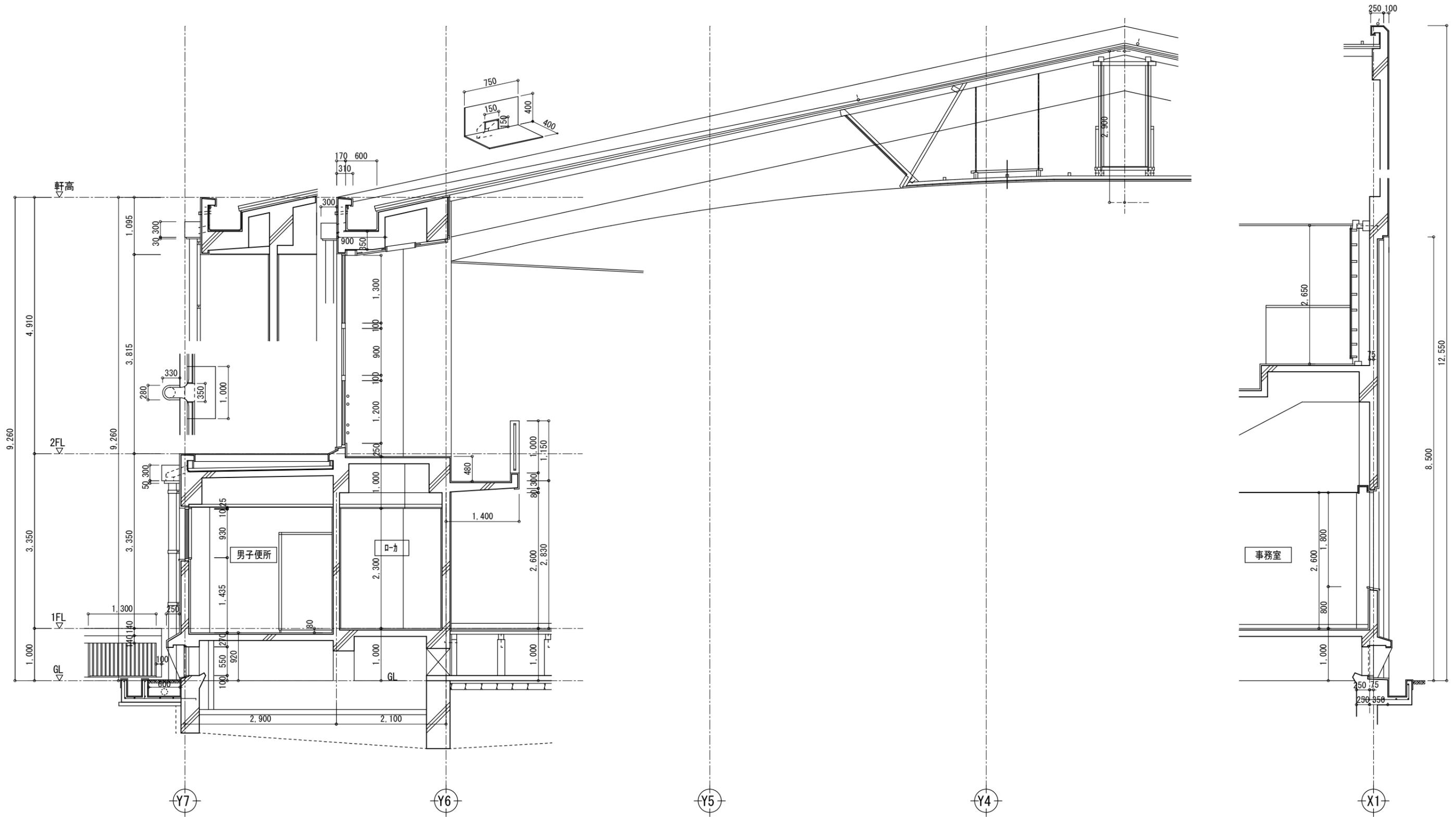


南立面図  
 A2:S= 1/100  
 A3:S= 1/171



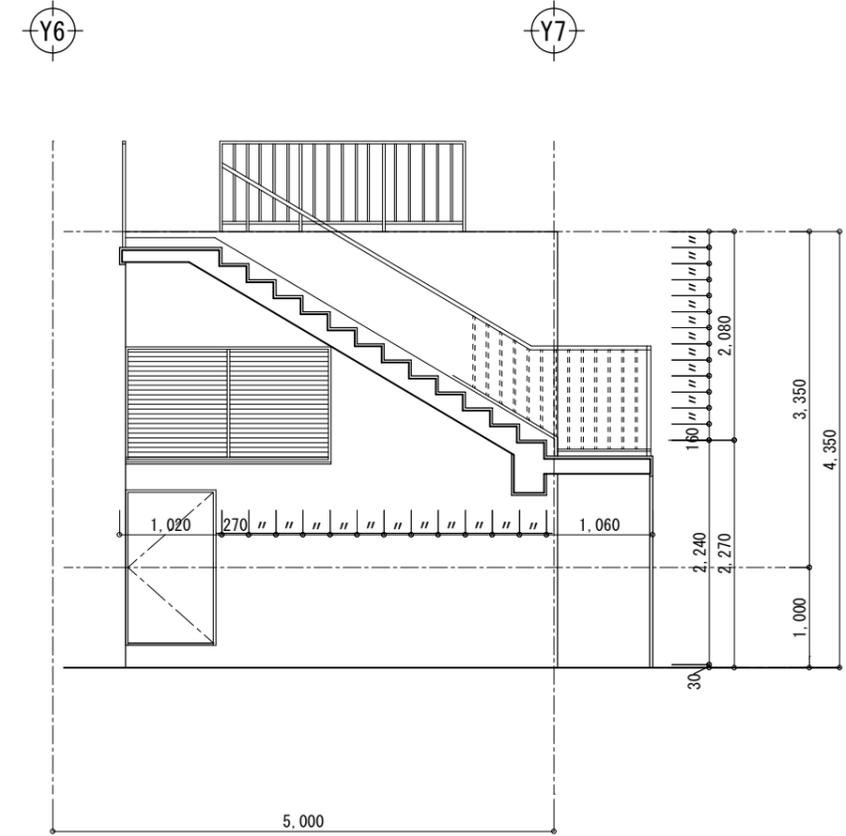
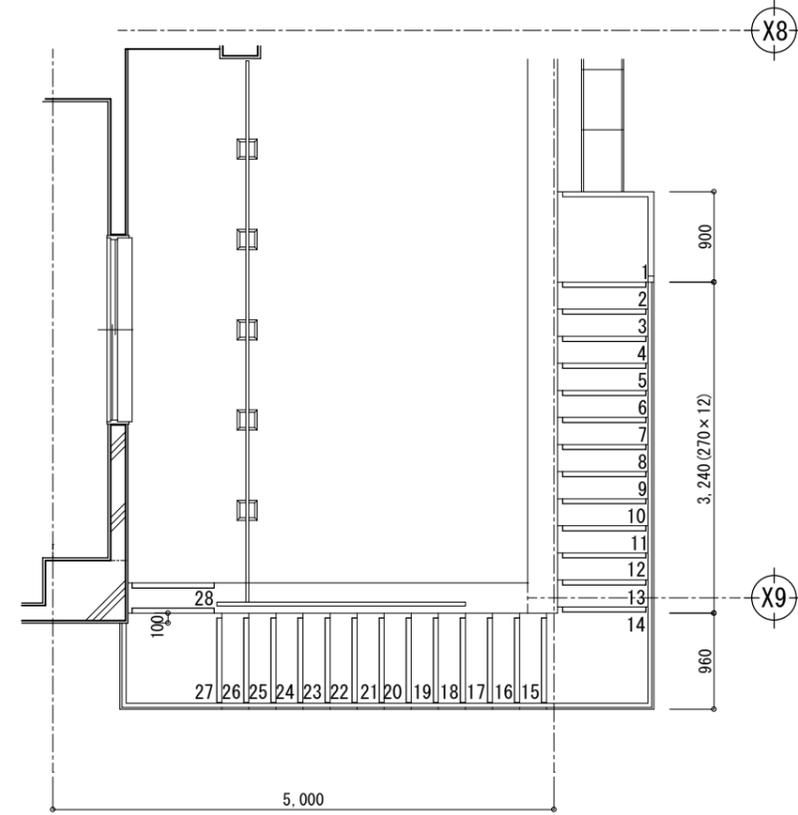
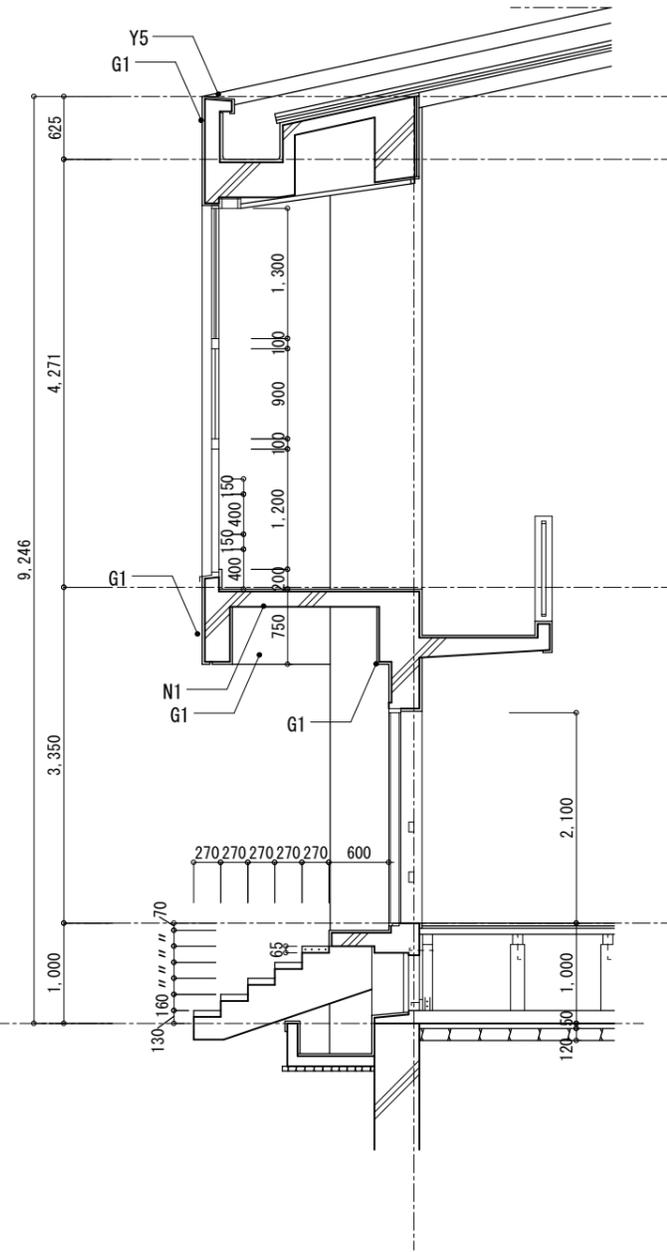
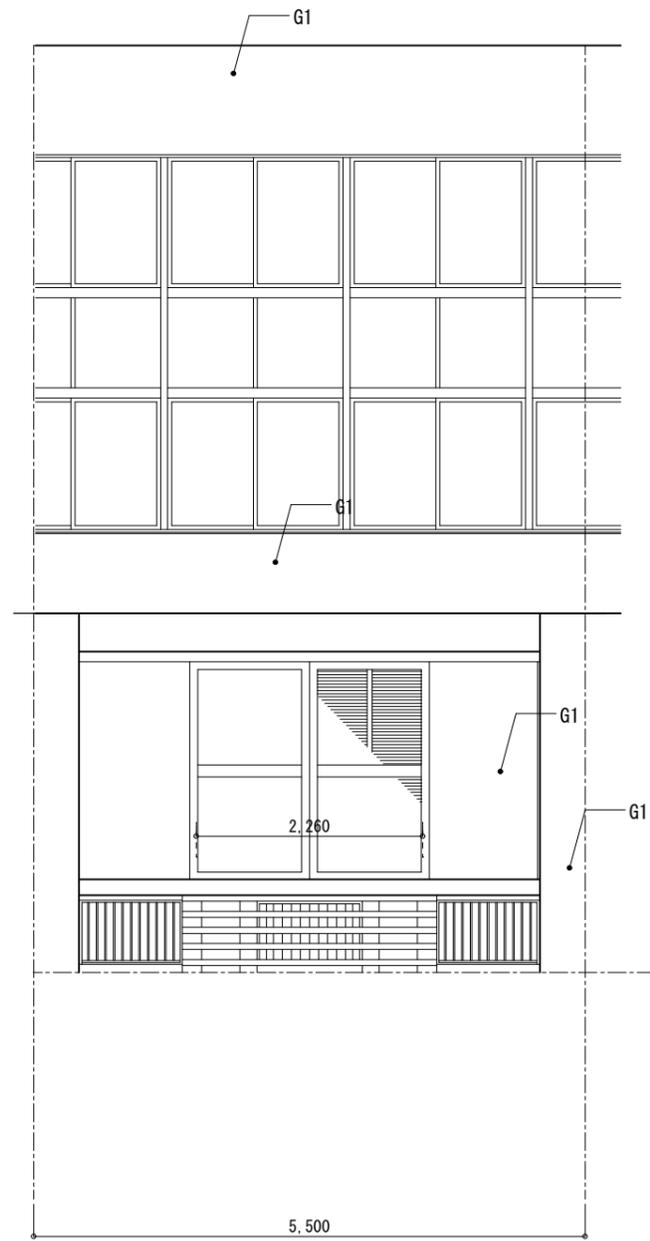
西立面図  
 A2:S= 1/100  
 A3:S= 1/171

特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S= 1/100 A3:S= 1/171	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番	年月日
					図名 立面図2		No. A 12	令和6年10月



主要矩計図  
 A2:S= 1/50  
 A3:S= 1/86

特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S= 1/50 A3:S= 1/86	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番	年月日
					図名 主要矩計図		No. A 13	令和6年10月



X4

X5

Y1

Y6

Y7

X8

X9

特記事項

設計

公益財団法人 三重県建設技術センター

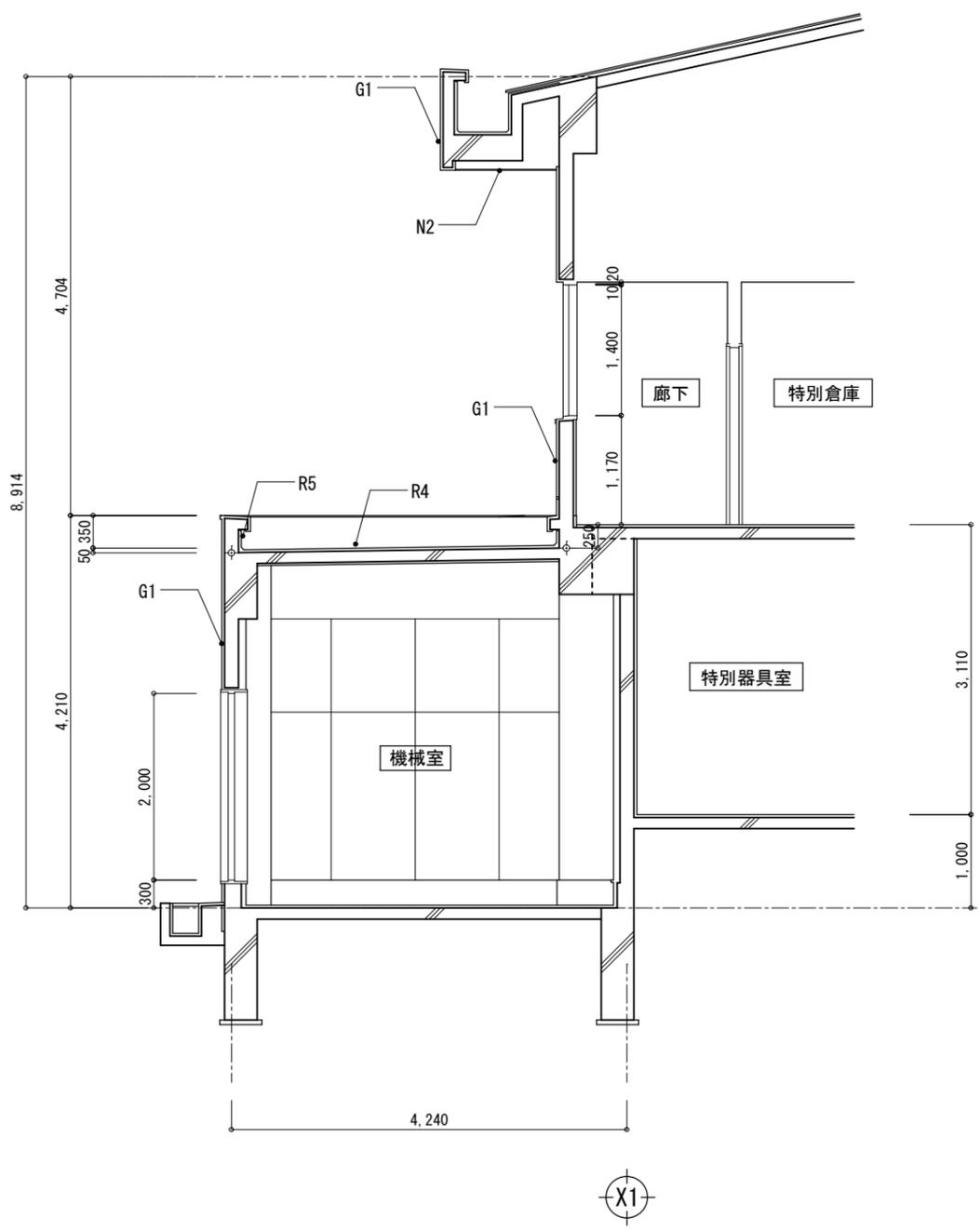
縮尺

A2:S= 1/50  
A3:S= 1/86

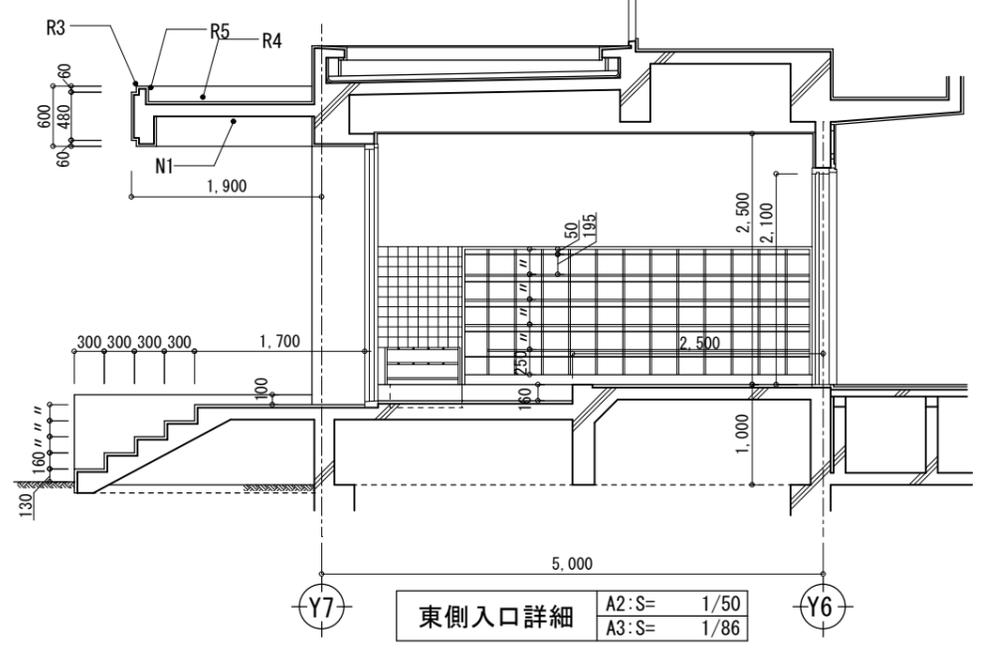
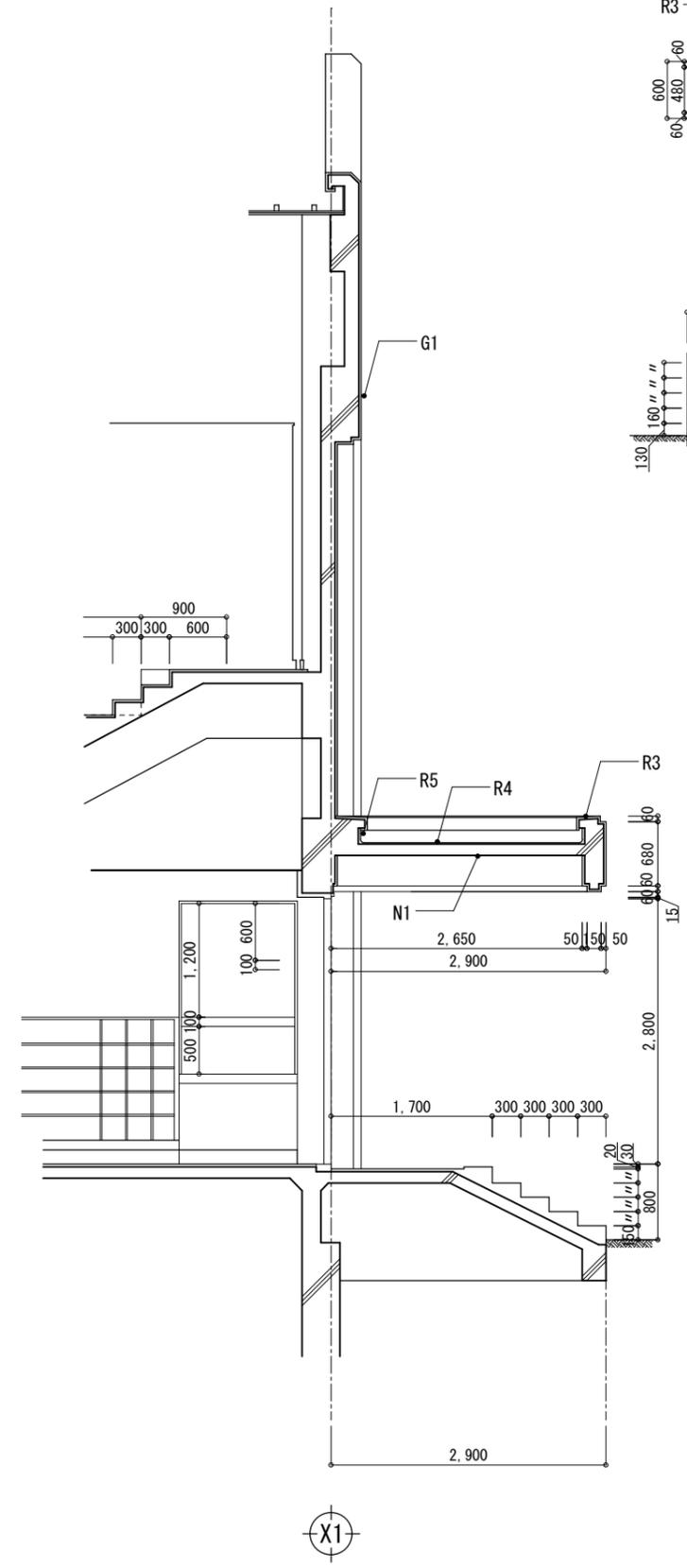
木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事  
図名 西側矩計及び非常階段詳細図

図番 No. A  
14

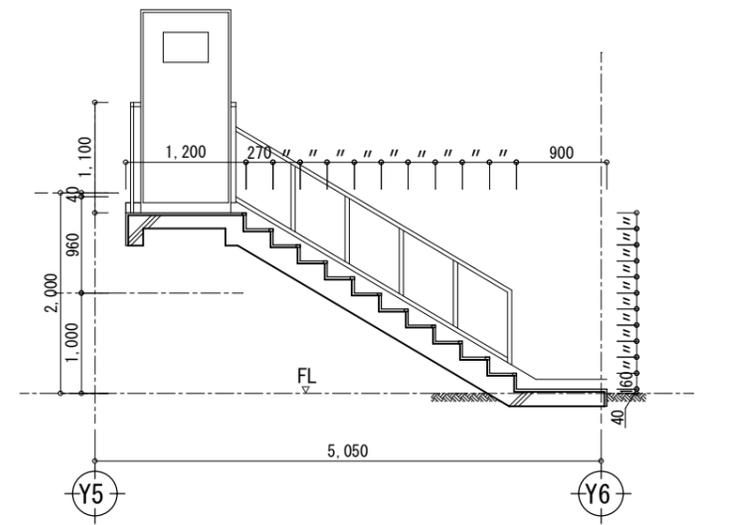
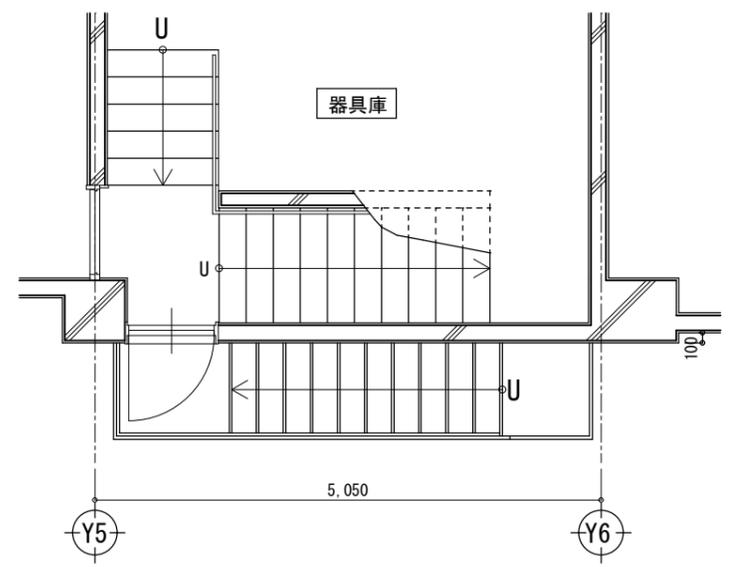
年月日 令和6年10月



機械室 断面図 A2:S= 1/50 A3:S= 1/86

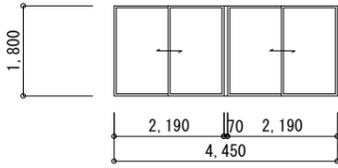
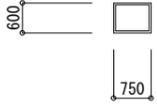
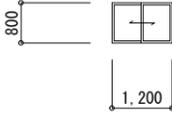
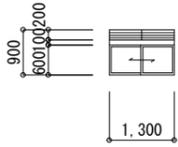
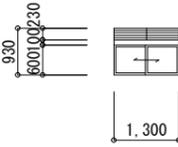
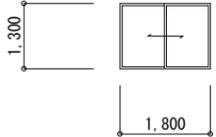
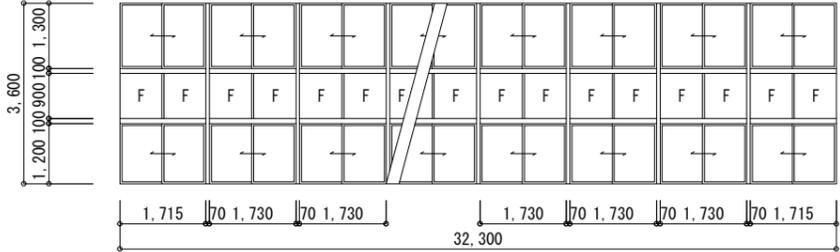
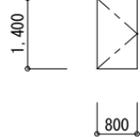
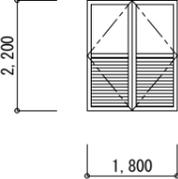
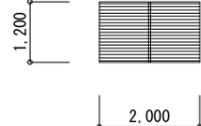


東側入口詳細 A2:S= 1/50 A3:S= 1/86

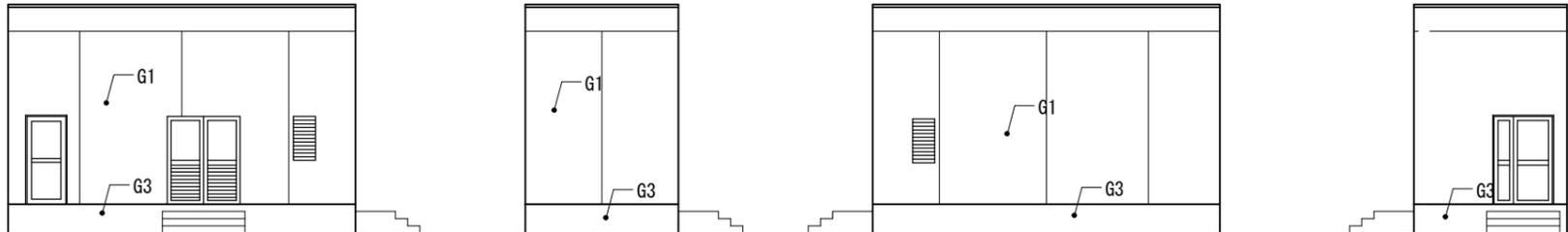


特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S= 1/50 A3:S= 1/86	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事	図番	年月日
					図名	No. A 15	令和6年10月

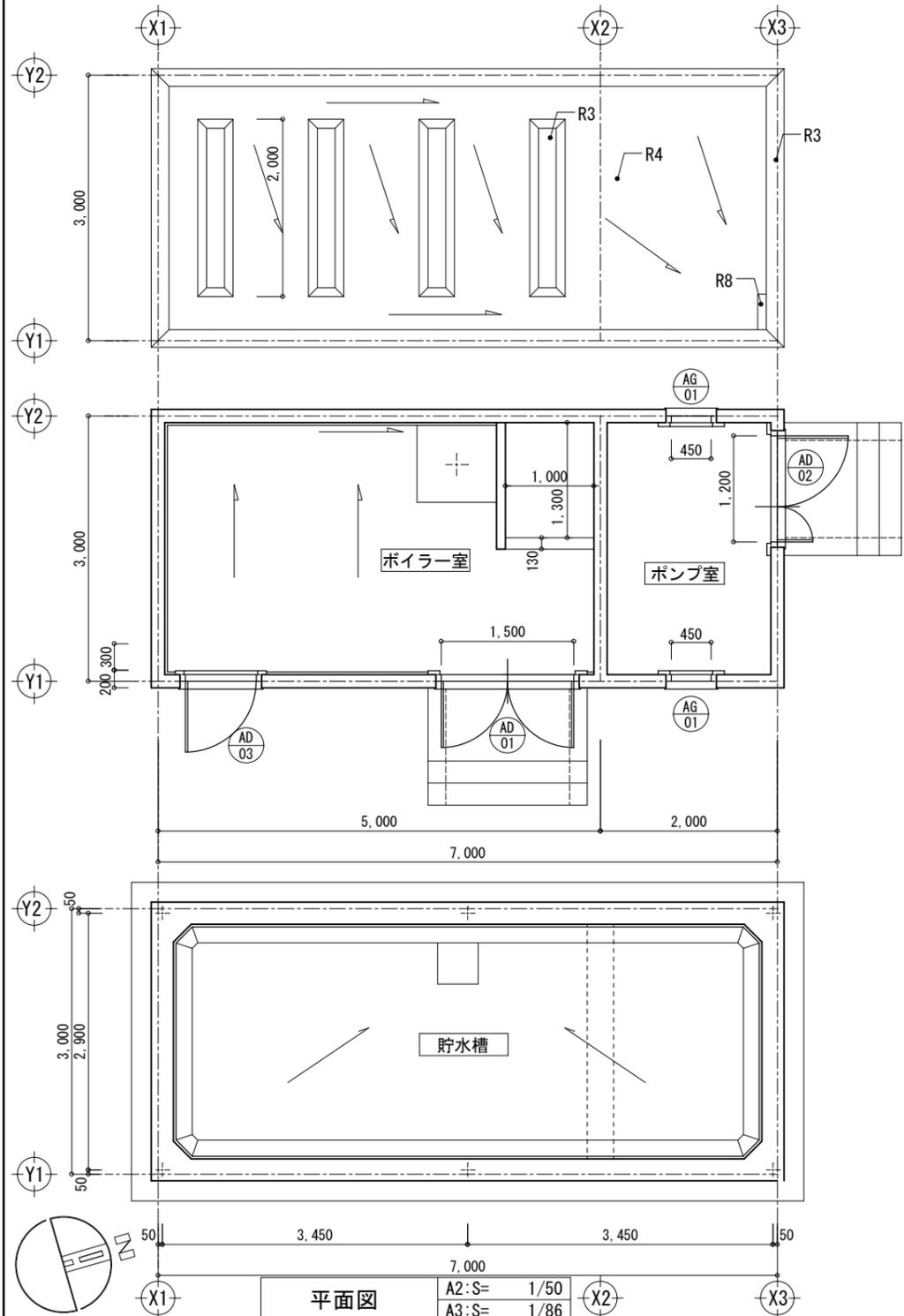
記号	名称	数量	SSD 1	袖Fix付 2組両開き戸	1ヶ所	SSD 2	袖Fix付 両開き戸	1ヶ所	AD 1	片開き戸	4ヶ所	AD 2	片引き戸	4ヶ所	AD 3	両開き戸	2ヶ所	
姿図	▼FL																	
使用場所	玄関		玄関		通用玄関		西入口											
寸法 W×H	仕上		4,500 ×	2,800	ステンス、H.L仕上	4,900 ×	2,550	ステンス、H.L仕上	850 ×	1,900	アルミライト (**)	900 ×	2,100	アルミライト (フラッシュ)	1,800 ×	2,100	アルミライト フラッシュ	
扉・サツ見込	枠・額縁		100			100			70									
付属金物	707-ヒンジ、シリング錠、下部フレーム、コーナー金物 押棒 (ユニオンG-590)		707-ヒンジ、シリング錠、下部フレーム、コーナー金物 押棒 (ユニオンG-590)		707-ヒンジ、シリング錠、下部フレーム、コーナー金物 押棒 (ユニオンG-590)		707-ヒンジ、シリング錠、下部フレーム、コーナー金物 押棒 (ユニオンG-590)		丁番 (***) トアチェック ** AP モロック錠 下枠 ステンス t=2曲げ加工		ステンスレス、ステンス沓摺、引手 戸車		ステンスレス (***) ステンス沓摺 707ヒンジ		シリング錠 フランス落し			
ガラス	沓摺																	
改修内容	建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		現状のまま		現状のまま		現状のまま		現状のまま		現状のまま	
記号	名称	数量	AD 4	両引分け戸	6ヶ所	AD 5	引分け戸	1ヶ所	AD 6	引分け戸	1ヶ所	AG 1	アルミガラリ	1ヶ所				
姿図	▼FL																	
使用場所	西口		東口		東口		( )内は AD 01' とする											
寸法 W×H	仕上		2,260 ×	2,100	アルミライト (ガラリ戸共)	1,565 ×	2,000	アルミライト フラッシュ	2,300 ×	2,100	アルミライト フラッシュ	300 ×	300	アルミライト				
扉・サツ見込	枠・額縁		100															
付属金物	ハンカ戸金物一式 引手 フランス落し 中央戸当り ステンスガラリドレール・ステンス枠		ハンカ戸金物一式 引手 フランス落し 中央戸当り ステンスガラリドレール・ステンス枠		ハンカ戸金物一式 引手 フランス落し 中央戸当り ステンスガラリドレール・ステンス枠		ハンカ戸金物一式 引手 フランス落し 中央戸当り ステンスガラリドレール・ステンス枠		ステンスレール ステンス沓摺 引手 戸車		4方アルミ額縁							
ガラス	沓摺																	
改修内容	建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		現状のまま		現状のまま		建具シーリング 打替							
記号	名称	数量																
姿図																		
使用場所																		
寸法 W×H	仕上																	
扉・サツ見込	枠・額縁																	
改修内容																		
ガラス	沓摺																	
備考																		
特記事項							設計		公益財団法人 三重県建設技術センター		縮尺		A2:S= 1/100 A3:S= 1/171		木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番 年月日	
							計						図名 建具表1		No. A 16		令和6年10月	

記号	名称	数量	AW 1	2連引き違い窓	2ヶ所	AW 2	Fix窓	4ヶ所	AW 4	引き違い窓	1ヶ所	AW 5	アルミ付引き違い	4ヶ所	AW 6	アルミ付引き違い	7ヶ所	
姿 図																		
使用場所			7用ミライト		7用ミライト		7用ミライト		7用ミライト		7用ミライト		7用ミライト		7用ミライト		7用ミライト	
寸法 W×H	仕 上		4,450 ×	1,800		750 ×	600		1,200 ×	800		1,300 ×	900		1,300 ×	930		
扉・サツ見込	枠・額縁		70		70		70		70									
付属金物			4方アング ルビース 二重水切		二重水切 4方アング ルビース (1ヶ所のみ)		二重水切 4方アング ルビース		二重水切 4アルミ額縁 ガラス部裏面ステルスミ張		二重水切 4アルミ額縁 ガラス部裏面ステルスミ張		二重水切 4アルミ額縁 ガラス部裏面ステルスミ張		二重水切 4アルミ額縁 ガラス部裏面ステルスミ張		二重水切 4アルミ額縁 ガラス部裏面ステルスミ張	
ガラス	沓摺																	
改修内容			建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼	
記号	名称	数量	AW 7	引き違い窓	5ヶ所	AW 8	3段18連引き違い窓			2ヶ所	AD 7	片開き窓	2ヶ所	AD 8	両開き窓	2ヶ所		
姿 図																		
使用場所			7用ミライト		7用ミライト		7用ミライト		7用ミライト		7用ミライト		7用ミライト		7用ミライト		7用ミライト	
寸法 W×H	仕 上		1,800 ×	1,300		14,300 ×	3,600		800 ×	1,400		800 ×	1,400		800 ×	1,400		
扉・サツ見込	枠・額縁		70		70		70		70		70		70		70		70	
付属金物			二重水切 4方アング ルビース		二重水切 4方アング ルビース オペレーター装置 (3ヶ/ヶ所)		モ/ロック錠、丁番(**) 下枠ステンレス t=2 曲げ加工		モ/ロック錠、丁番(**) トアチック(**) モ/ロック錠 下枠ステンレス t=2 曲げ加工 ヒューズ 付可動ガラス		モ/ロック錠、丁番(**) トアチック(**) モ/ロック錠 下枠ステンレス t=2 曲げ加工 ヒューズ 付可動ガラス		モ/ロック錠、丁番(**) トアチック(**) モ/ロック錠 下枠ステンレス t=2 曲げ加工 ヒューズ 付可動ガラス		モ/ロック錠、丁番(**) トアチック(**) モ/ロック錠 下枠ステンレス t=2 曲げ加工 ヒューズ 付可動ガラス		モ/ロック錠、丁番(**) トアチック(**) モ/ロック錠 下枠ステンレス t=2 曲げ加工 ヒューズ 付可動ガラス	
ガラス	沓摺																	
改修内容			建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替 ガラスシーリング 打替 ガラスフィルム貼		建具シーリング 打替		建具シーリング 打替		建具シーリング 打替		建具シーリング 打替		建具シーリング 打替		建具シーリング 打替	
記号	名称	数量	AG 2															
姿 図																		
使用場所			7用ミライト															
寸法 W×H	仕 上		2,000 ×	1,200														
扉・サツ見込	枠・額縁		70															
付属金物			二重水切 固定ガラス															
ガラス	沓摺																	
改修内容			建具シーリング 打替															
特記事項	設計		公益財団法人 三重県建設技術センター		縮尺		A2:S= 1/100 A3:S= 1/171		木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事		図番		No. A 17		年月日		令和6年10月	
	設計				尺				建具表2									

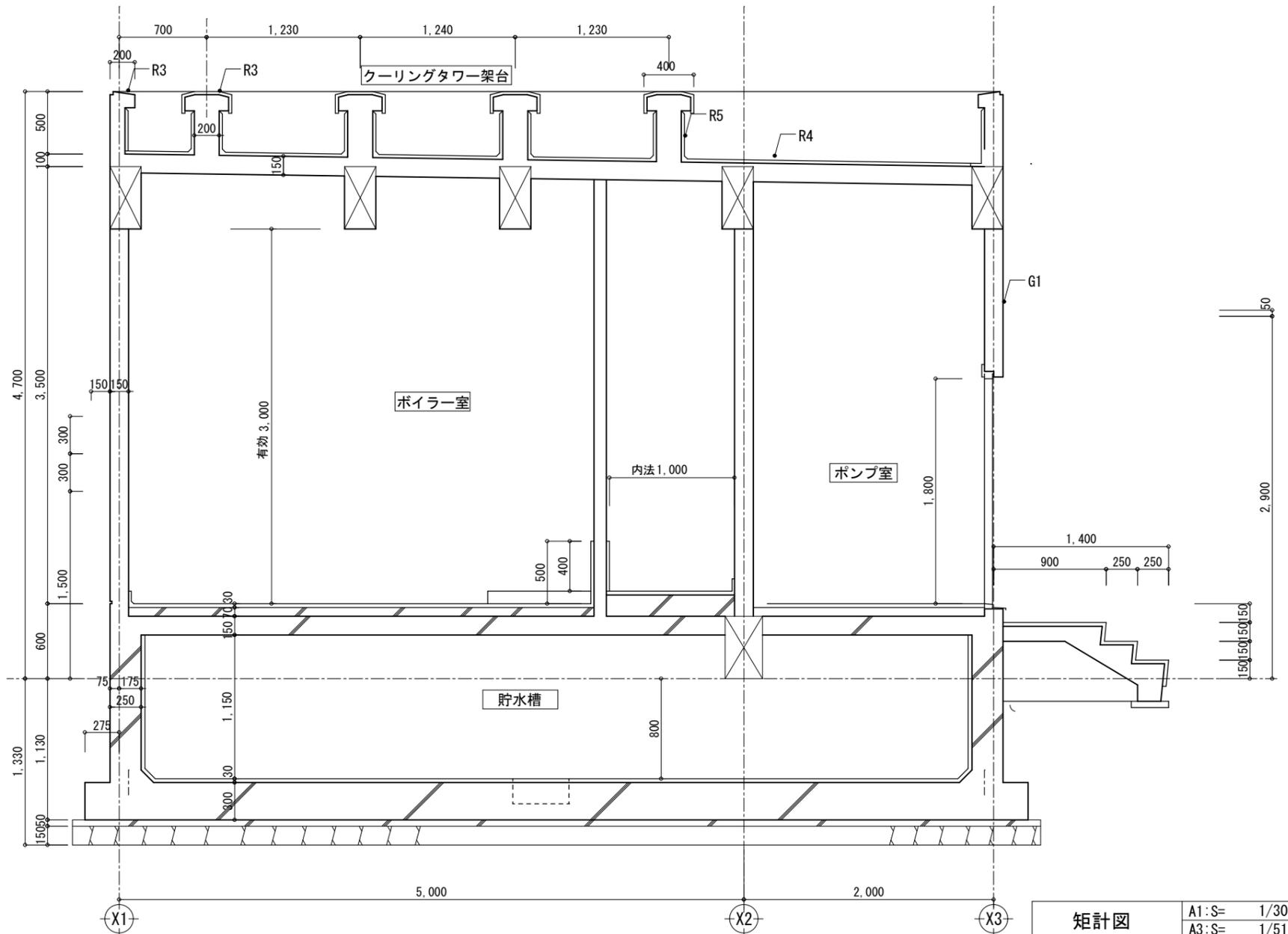
名称	AD-1	AD-2	AD-3	AG-1
姿図				
数量	1	1	1	2
見込	70	70	70	70
仕上	7Mライト	7Mライト	7Mライト	7Mライト
硝子	6.8ミリ入型	6.8ミリ入型	6.8ミリ入型	
金物	シングル錠、ドアフェック	シングル錠、ドアフェックガラス落	丁番、ドアフェック	
備考	ガラス落丁番 下枠斜し曲げ加工 ヒューズ付可動ガラ	丁番 下枠斜し曲げ加工	シングル錠、下枠斜し曲げ加工	ヒューズ付可動ガラ
改修内容	建具シングル打替 ガラスシングル打替	建具シングル打替 ガラスシングル打替	建具シングル打替 ガラスシングル打替	建具シングル打替



東立面図 A2:S= 1/100 A3:S= 1/171  
南立面図 A2:S= 1/100 A3:S= 1/171  
西立面図 A2:S= 1/100 A3:S= 1/171  
北立面図 A2:S= 1/100 A3:S= 1/171



平面図 A2:S= 1/50 A3:S= 1/86



矩計図 A1:S= 1/30 A3:S= 1/51

特記事項	設計	公益財団法人 三重県建設技術センター	縮尺	A2:S= 1/100、1/50、1/30 A3:S= 1/171、1/86、1/51	木曾岬町体育館屋根及び外壁改修工事 図名 ホイラー室及びポンプ室棟 平面図・立面図・矩計図・建具表	図番	年月日
						No. A 18	令和6年10月